RoadQuest

RQ-A719PVF

取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
- この取扱説明書は大切に保管ください。
- 本機は、日本国内専用モデルのため、海外で使用することはできません。

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。

- 電話でのお問い合わせ

  0120-099-355(フリーダイヤル)

  上記番号がご利用頂けない場合は、

  03-4330-3766(通話料はお客様のご負担となります)

  受付：9:00 ～ 18:00(土・日・祝日・当社休日を除く)
- メールでのお問い合わせ

  rqshop.support@naviquest.co.jp

  ※土･日･祝日･当社休日にいただいたお問い合わせは、翌営業日以降の対応となります。
- 製品サイト

  https://roadquest.naviquest.co.jp

POWERED BY ZENRIN　VICS　地デジ DIGITAL　1seg

NaviQuest

目次

はじめに……5
内容物の確認……6
本書の読み方……7
安全上のご注意……8
取り付けや配線をするとき……9
ご使用になるとき……11
使用上のご注意……14
液晶ディスプレイについて……14
本機のお手入れについて……14
Wi-Fi モジュールについて……14
免責事項について……15
各部の名称とはたらきについて……16
タッチパネルの操作について……18
基本的な操作について……18
リストのスクロール操作について……20
音量スライダーの操作について……21
現在地 (自車位置) の測位について……22
現在地 (自車位置) を測位するまでの時間について……22
現在地 (自車位置) が測位できない環境について……22
現在地 (自車位置) の誤差について…23
地上デジタル放送について……24
miniB-CAS カードについて……25
miniB-CAS カードに関するお問い合わせ先について……26
取り付け……27
本機を車に取り付ける……28
取り付け位置について……28
取り付けについてのご注意……29
取り付け手順について……30
ロッドアンテナを取り付ける……33
地上デジタル放送用外部アンテナを取り付ける……34
フィルムアンテナについて……34
フィルムアンテナ取り付け時の注意点 35
フィルムアンテナの取り付け位置について……36
フィルムアンテナの取り付け手順について……37
起動とメインメニュー……41
電源を ON/OFF する……42
電源を ON する……42
電源を OFF する……42
画面表示を OFF/ON する……42
メインメニューについて……43
各種システム設定をする……44
システム設定する……44
スタート画面を設定する……44
システム情報を見る……45
工場出荷時に戻す……45
ナビの基本操作……47
ナビを起動／終了する……48
ナビを起動する……48
ナビを終了する……48
ナビメニューについて……49
地図 (現在地表示) について……50
地図 (現在地表示) の表示内容について……50
地図 (現在地表示) のボタンについて 51
地図表示記号について……52
地図アイコン (例)……52
3D アイコン (例)……53

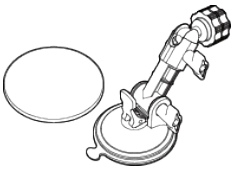
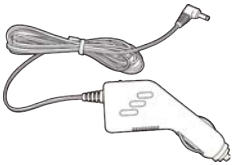
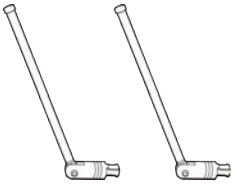
地図 (スクロール中) について……54
地図を操作する……55
地図をスクロールする……55
地図を拡大／縮小する……56
地図を回転する……56
地図の家形表示を変更する……56
地図の表示角度を変更する……57
地図方向を変更する……57
ナビと AV 機能を分割表示する……58
ナビ画面の共通操作について……60
現在地に戻る……60
一つ前の画面に戻る……60
リストをスクロールする……60
文字入力キーボードについて……61
システム標準キーボード……61
ナビ専用キーボード……62
行き先を探す……65
さまざまな方法で行き先を探す……66
検索地点周辺地図について……67
検索履歴から探す……68
自宅を行き先にする……69
登録地点から探す……70
周辺施設から探す……71
施設名から探す……72
住所から探す……73
施設のジャンルから探す……74
電話番号から探す……76
駅名から探す……77
地図から探す……78
緯度と経度から探す……79
ルート探索と案内……81
ルート探索を開始する……82
目的地を探してルート探索を開始する 82
ルートを編集してルート探索を開始する……83
経由地を設定する……84
ルート計算方法について……85
ルート探索時の注意点……85
経由地設定時の注意点……85
ルートを確認して案内を開始する……86
ルート情報を見る……87
デモ走行する……87
ルート案内について……88
一般道路の案内画面について……88
交差点拡大図について……89
ハイウェイガイドについて……90
イラストガイドについて……91
リルートについて……92
道路切り替えについて……92
トンネルアシストについて……92
ナビの設定と登録情報……93
ナビの各種設定をする……94
地図の表示内容を設定する……95
ルート探索を設定する……96
ルート案内を設定する……97
安全運転ガイドを設定する……98
アプリケーションを設定する……99
ランドマークを設定する……100
自宅を登録する……101
地図から登録する……101
地点を検索して登録する……101
地点を登録する……102
地図から登録する……102
地点を検索して登録する……102
ルートを登録する……103
ルートを登録する……103
登録ルートからルートを設定する…103
登録情報を管理する……104
登録地点名を変更する……104
登録地点アイコンを変更する……105
登録地点を削除する……106

登録ルートを削除する……106
検索履歴を削除する……107
走行軌跡を削除する……107
GPS 情報を見る……108
ナビシステム情報を見る……109
ナビデータを初期化する……110
ナビシステムをアップデートする……111
テレビ・AV 機能……113
テレビを視聴する……114
メインメニューから起動する……114
ナビから起動する……114
デレビを視聴するための手順について 115
テレビ画面について……117
テレビ画面 (2 画面分割表示時) について……118
テレビを設定する……119
メディアおよびファイルについて……120
マイクロ SD カードについて……120
本機で再生できるファイル形式について……120
音楽を再生する……121
メインメニューから起動する……121
ナビから起動する……121
音楽プレーヤーについて……122
音楽プレーヤー (2 画面分割表示時) について……123
音楽ファイルの場所を指定する……123
動画を再生する……124
メインメニューから起動する……124
ナビから起動する……124
動画プレーヤーについて……125
動画プレーヤー (2 画面分割表示時) について……126
動画ファイルの場所を指定する……126
写真を表示する……127
メインメニューから起動する……127
フォトビューアーについて……127
フォトビューアー (全画面表示時) について……128
写真ファイルの場所を指定する……128
外部機器を接続 (AV 入力) する……129
AV ケーブルを接続する……129
メインメニューから起動する……130
ナビから起動する……130
外部入力画面について……131
外部入力画面 (2 画面分割表示時) について……131
バックカメラを接続する……132
VICS を利用する……133
VICS 情報を表示する……134
VICS について……134
VICS 情報の表示手順について……134
インターネットに接続する……135
シリアル情報を登録する……136
シリアル情報を確認・更新する……137
VICS 表示について……138
VICS 情報を考慮したルート探索について 139
VICS を設定する……140
VICS 表示を設定する……140
VICS 更新方法を設定する……141
その他……143
収録データについて……144
詳細市街図収録エリア……146
仕様……151
保証について……152

はじめに

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。

品名		数量
	ナビゲーション本体	1
	吸盤スタンド	1
	吸盤スタンドベース板	1
	シガーソケットコード	1
	地上デジタル放送用ロッドアンテナ (本体装着済み)	2
	miniB-CAS カード	1
	取扱説明書／保証書 (本書)	1

本書の読み方

ボタン名
本書では、ボタンを［メニュー］のように、［○○］と表記しています。

インデックス
章の内容を示すインデックスです。

駅名から探す

駅名から行き先を探します。
本機には全国の JR・私鉄・地下鉄・その他鉄道の駅が収録されています。

1 ［メニュー］➡［目的地検索］➡［駅名］をタッチします。

2 駅名を入力します。入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ 61 ページの「文字入力キーボードについて」を参照)
入力完了後、［決定］をタッチします。
※検索は前方一致で行います。

・ナビ専用キーボードは、ひらがなで名称を入力します。システム標準キーボードは、漢字での名称入力が可能です。

3 検索結果が表示されます。リストから該当の駅をタッチします。

4 選択した駅に出入口情報がある場合、出入口リストが表示されます。
リストから該当の出入口をタッチします。

5 選択した駅周辺の地図が表示されます。
(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)

補足
手順の補足説明や制限事項について説明しています。

参照ページ
本書では、参照ページを以下のように表記しています。
(→○ページの「○○」を参照)

※上記はサンプルページです。本書の実際のページとは異なる場合があります。

安全上のご注意

ご使用になる前に、以下の注意事項と取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく理解してからご使用ください。
お使いになるかたや他の人への危害と物的損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を説明しています。
以下の図記号の表示と意味をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

警告	「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容」です。
禁止	「してはいけない内容」です。
実施	「実施しなければならない内容」です。

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告

実施	説明書に従って正しく配線・取り付けを行う。指示に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因となります。
	取り付けは安全な場所に駐車して行う。走行中の取り付けは大変危険です。
	プラスアースの車と接続しない。本機は、DC12V ～ 24V のマイナスアース車用です。これ以外の接続は故障、火災の原因となります。
	車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける。車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。
	コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す。ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。
	車のアクセサリーソケットに金属片など異物がないことを確認してから、電源プラグを差し込む。ショートして、故障、火災の原因となります。
	取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる。車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。
	使用しないコードの先端などは、絶縁する。被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。
禁止	本機を運転の妨げになる場所や前方の視界を妨げる場所、エアバッグの動作の妨げになる場所に設置して使用しない。 運転に支障が生じ、交通事故を招くおそれがあります。またエアバッグが正常に作動しなかったり、動作したエアバッグでお客様が利用される機器などが破損したりしてケガをするおそれがあります。
	同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない。同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

警告

禁止	取り付けの際は車両の保安部分のボルトやナットを絶対に使用しない。 ステアリングやブレーキなど、保安部分のボルトやナットを使用して本機やコードなどを取り付けると、事故の原因となります。
	キャップなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。あやまって、飲み込むおそがあります。万一飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。
	分解や改造はしない。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。

注意

禁止	高温になる場所などに取り付けない。直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になる場合があります。
	水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない。雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になる場合があります。
	振動の多いところや不安定な場所に取り付けない。傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になる場合があります。

ご使用になるとき

警告

実施	実際の交通規制に従って走行する。運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。ナビゲーション画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。
	走行する前に、本機、吸盤スタンドがしっかりと固定してあることを確認する。事故の原因になったり、負傷の原因となります。
	万一、出火、発煙、異臭、高温などの異常な状態になった場合は、ただちに車を安全な場所に停め、使用を中止して必要な措置をとる。
	異物や水を本機に入れないように注意する。故障、火災の原因となります。
	必ず規定容量のヒューズを使用する。また、交換は専門技術者に依頼する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。
禁止	ナビゲーション機能を自動車以外には使用しない。
	運転中は本機の操作、注視をしない。運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。必ず安全な場所に車を停止させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。
	故障や異常のまま使用しない。画面が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると、発火などの原因となります。直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。
	本機を救急施設などへの誘導用に使用しない。本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。必ず各施設に連絡をして、場所などの確認を行ってください。
	大きな音量で使用しない。車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因になります。
	運転者は、走行中にヘッドホンを使用しない。外部の音が聞こえにくくなり、交通事故を招くおそれがあります。

警告

禁止	コードは傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしない。ショートや断線により、発火や故障の原因となる場合があります。
	雷が鳴り出したら本機やコードに触れない。感電の原因となります。
	濡れた手で取り付け、操作しない。故障や感電して負傷するおそれがあります。

注意

実施	長期間使用しない場合には、お車から取り外して直射日光の当たらない場所に保管する。
	林道などの未舗装路や岩場など条件の悪い場所での走行の際、吸盤スタンドおよび本機の破損や脱落を防ぐ為、一時的に吸盤スタンドより本機を取り外す。
	液晶ディスプレイは、必ず指で触れて操作する。
禁止	強い衝撃を与えない。落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になる場合があります。
	吸盤スタンドに、必要以上の力を入れない。破損、ケガのおそれがあります。
	本機を車のエンジンが停止した状態で長時間使用しない。車のバッテリーが上がるおそれがあります。
	液晶ディスプレイは、先端が硬いもの (ボールペン、ピンなど) を使って操作しない。また、指でたたいたり、強く押さえない。傷、破損、誤動作のおそれがあります。

使用上のご注意

ご使用になる前に必ず取扱説明書や注意事項などをよくお読みのうえ、正しく理解してからご使用ください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイは、必ず指で触れて操作してください。
- 液晶ディスプレイは、先端が硬いもの (ボールペン、ピンなど) を使って操作しないでください。また、指でたたいたり、強く押さえないでください。傷、破損、誤動作の原因になります。
- 液晶ディプレイに強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 本機を使用しない場合は、直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が長時間当たると高温になり、故障の原因になります。
- 極端に高温または低温になると、表示が遅くなったり、暗くなったりする場合があります。これは液晶ディスプレイの特性によるもので故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶ディスプレイに小さな点が出る場合とがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象で故障ではありません。
- 液晶ディスプレイの特性により、見る角度によっては表示が見づらい場合がありますが故障ではありません。

本機のお手入れについて

- 本体が汚れた場合は、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。
- 硬い布やぬれた雑巾は使用しないでください。
- アルコール、有機溶剤 (ベンジン、シンナーなど)、酸、アルカリ類は使用しないでください。
- 硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

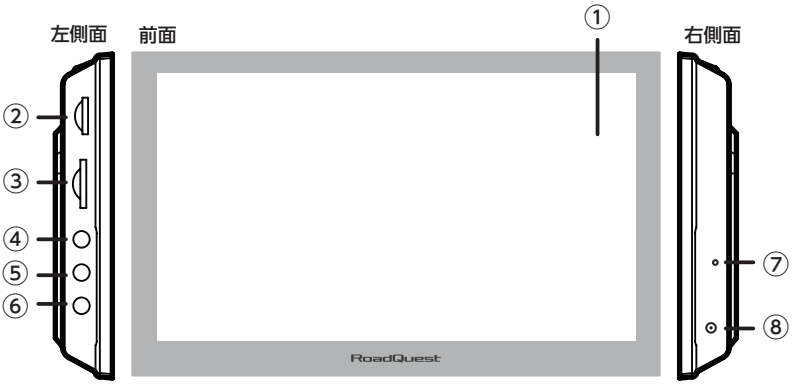
Wi-Fi モジュールについて

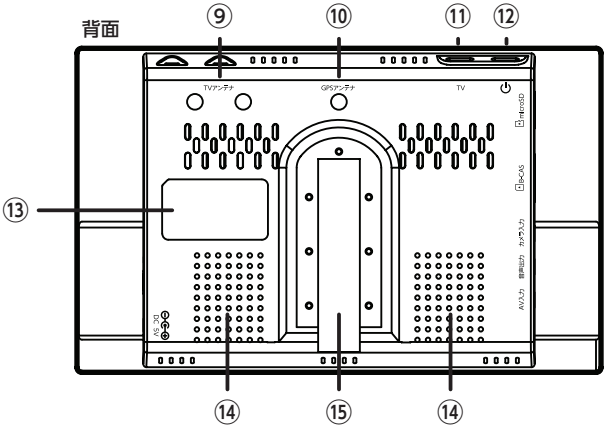
- 本機に搭載している Wi-Fi モジュールは、電波法に基づく技術基準適合証明および電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けています。
- 技適マークは、システム情報画面で確認します。システム情報画面は、メインメニューで［設定］➡［システム情報］をタッチして表示します。

免責事項について

- 取扱説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機のナビゲーション機能および地図データは、自動車での使用を前提に作られています。本来の使い方から逸脱した使用により生じた損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害 (事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など) に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本機の誤使用や静電気などの電気的なノイズの影響を受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合の補償はできません。
- 本機の誤使用や静電気などの電気的なノイズの影響を受けた場合、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報が変化・消失した場合の補償はできません。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- 本機を業務目的に使用した場合の保証はできません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、プライバシー保護のため本機に登録または記録した個人情報は、お客様の責任において管理や消去を行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。

各部の名称とはたらきについて

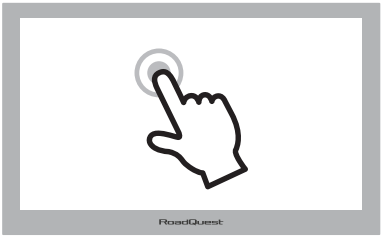




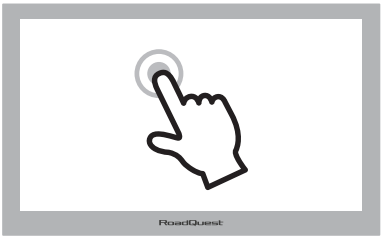
①：液晶ディスプレイ
②：マイクロ SD カード挿入口
マイクロ SD カードを挿入します。(→ 120 ページの「マイクロ SD カードについて」を参照)
③：miniB-CAS カード挿入口
付属の「miniB-CAS カード」を挿入します。(→ 115 ページの「miniB-CAS カードを入れる」を参照)
④：カメラ入力端子
オプションの「カメラケーブル」を接続します。(→ 132 ページの「バックカメラを接続する」を参照)
⑤：音声出力端子
市販のヘッドホンを接続します。
⑥：AV 入力端子
オプションの「AV ケーブル」を接続します。(→ 129 ページの「外部機器を接続 (AV 入力) する」を参照)
⑦：電源ランプ
⑧：DC 入力 5V 端子
付属の「シガーソケットケーブル」またはオプションの「AC アダプタ」を接続します。
⑨：地上デシタル放送用アンテナ端子
付属の「地上デシタル放送用ロッドアンテナ」(→ 33 ページの「ロッドアンテナを取り付ける」を参照) またはオプションの「地上デシタル放送用外部アンテナ」を接続します。(→ 34 ページの「地上デジタル放送用外部アンテナを取り付ける」を参照)
⑩：GPS アンテナ端子
オプションの「外部 GPS アンテナ」を接続します。
⑪：TV ボタン
テレビを表示します。
⑫：電源ボタン
・ 短押しは音声はそのままで、画面の OFF/ON をします。
・ 長押しは電源の OFF/ON をします。
⑬：背面ラベル
注意事項、シリアル番号が記載されています。
⑭：スピーカー
⑮：吸盤スタンド取り付け口
付属の「吸盤スタンド」を取り付けます。(→ 28 ページの「本機を車に取り付ける」を参照)

タッチパネルの操作について

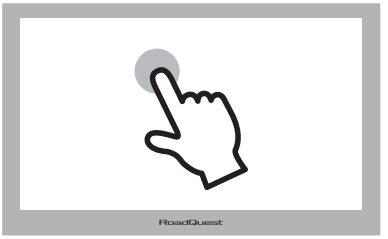
基本的な操作について



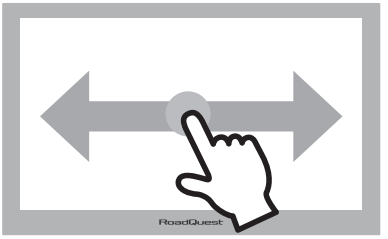
タッチ (タップ) :
画面上の任意の場所を指 1 本で軽く触れ、すぐに指を離します。



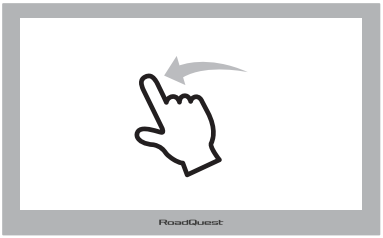
ダブルタップ :
画面上の任意の場所を素早く 2 回連続でタップします。



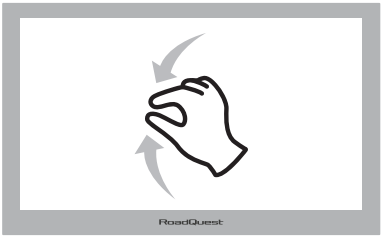
長押し :
画面上の任意の場所を指 1 本で押し続けます。



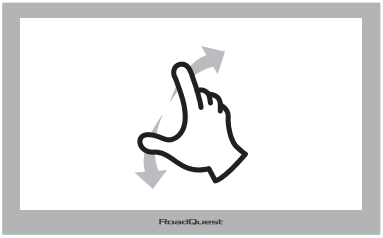
ドラッグ :
指を離さずに目的の場所まで動かして指を離します。



フリック：
画面に触れ、指を払うように動かします。

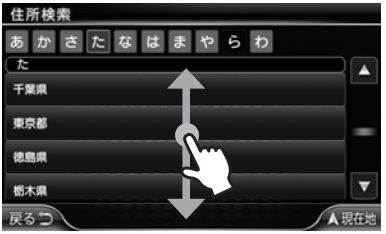


ピンチイン (指を狭める) :
2 本の指で画面を押さえ、摘むように指を近づけます。



ピンチアウト (指を広げる) :
2 本の指で画面を押さえ、指を広げて遠ざけます。

リストのスクロール操作について



スクロールしたい方向にリストをドラッグします。

スクロールしたい方向にリストをフリックします。スクロール中にリストにタッチすると、スクロールが止まります。

［矢印アイコン］をタッチしてスクロールします。

※［矢印アイコン］を長押しして、連続スクロールできるリストもあります。

音量スライダーの操作について

スライダーをドラッグして音量を調整します。

スライダーの任意の場所をタッチして音量を調整します。

現在地 (自車位置) の測位について

現在地 (自車位置) を測位するまでの時間について

以下のような場合は、現在地 (自車位置) を測位するまで時間がかかる場合があります。現在地 (自車位置) の測位に時間がかかる場合は、見晴らしの良い場所で、現在地 (自車位置) の測位ができるまでは移動しないでください。

- 初めてご使用になる場合。
- 長期間ご使用にならなかった場合。
- 前回終了時の場所から離れた場所に移動して、電源を入れた場合。
- 地下駐車場など現在地 (自車位置) が測位できない場所で終了して、電源を入れた場合。

現在地 (自車位置) が測位できない環境について

- 以下のような環境では、GPS 衛星からの電波が受信しにくくなり、現在地 (自車位置) の測位ができない場合があります。
  - トンネルの中
  - ビル内の駐車場や地下駐車場
  - 道路の下にある道路
  - 高架下
  - 高層ビルなどの間
  - 樹木の間
  - 曇り／雨などの悪天候
- 本機を電波を送受信する機器 (ETC 車載器、DSRC 車載器、レーダー探知機、他のナビゲーション機器など) の近くに取り付けている場合やパソコン、携帯電話を本機の近くでつかっている場合は、現在地 (自車位置) の測位ができない場合があります。
- 一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより、GPS 衛星からの電波が受信しにくくなり、現在地 (自車位置) の測位ができない場合があります。

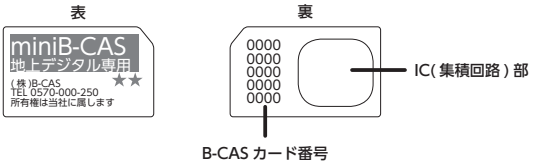
現在地 (自車位置) の誤差について

- 以下のような走行条件では、現在地 (自車位置) の位置や進行方向がずれる場合があります。
  - 角度の小さい Y 字路の走行
  - 直線や緩やかなカーブの長距離走行
  - S 字の連続する道路の走行
  - 近くに似た形状の道路がある道路の走行
  - ループ橋などの走行
  - 基盤目状の道路の走行
  - 勾配の急な山道や高低差のある道路の走行
  - 地図データにない新規道路や形状が変わった道路の走行
  - 道路と側道が隣接している場合
  - 道路の下の道路の走行
  - 高架下の走行
  - 現在地 (自車位置) の測位ができない状態が長く続いた場合
  - フェリーや車両運搬車などで移動した場合
  - 初めてご使用になった場合
  - 長期間ご使用にならなかった場合
  - 曇り／雨などの悪天候
- 本機を電波を送受信する機器 (ETC 車載器、DSRC 車載器、レーダー探知機、他のナビゲーション機器など) の近くに取り付けている場合やパソコン、携帯電話を本機の近くでつかっている場合は、現在地 (自車位置) の位置や進行方向がずれる場合があります。

地上デジタル放送について

- 本機は、地上デジタル放送 (12 セグ) およびワンセグ放送の受信に対応しています。
- 本機は、地上デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送には対応しておりません。
- 本機は、双方向データサービスには対応しておりません。
- ワンセグ放送は、地上デジタル放送のサービスのひとつで、携帯電話型受信機などの移動体でも安定して受信ができるように設計されたサービスです。地上デジタル放送波の一部を使って送っています。地上デジタル放送 (12 セグ) に比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは地上デジタル放送 (12 セグ) よりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。
- 地上デジタル放送では受信状況が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音が途切れたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルテレビチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 電波を送受信する機器 (ETC 車載器、DSRC 車載器、レーダー探知機、他のナビゲーション機器など) からなるべく離れた場所に取り付けてください。また、パソコンや携帯電話は、なるべく本機から離してご使用ください。これらの機器の近くで本機を使用すると、映像にブロックノイズが出たり、音が途切れたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたりする場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 本機は、ARIB(電波産業会) 規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

miniB-CAS カードについて



- miniB-CASカードは地上デジタル放送(12セグ)を受信するうえで必ず必要なカードです。
- 本機に付属の「miniB-CAS カード」には 1 枚ごとに異なる番号 (B-CAS カード番号) が付与されています。
- B-CAS カード番号は大切な番号です。「(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　B-CAS カスタマーセンター」への問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。
- 地上デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるために miniB-CAS カードが必要です。
- miniB-CAS カード取り扱い上の留意点
  - miniB-CAS カードを折り曲げたり、変形させないでください。
  - miniB-CAS カードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
  - miniB-CAS カードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
  - miniB-CAS カードの IC(集積回路) 部には手をふれないでください。
  - miniB-CAS カードの分解加工は行わないでください。
  - miniB-CAS カードはカード挿入口に正しく挿入してください。(→ 115 ページの「miniB-CAS カードを入れる」を参照)
  - 使用中に miniB-CAS カードの抜き差しはしないでください。地上デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。
- miniB-CAS カードの所有権は、(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあり、無断で譲渡できません。
- miniB-CAS カードの受信契約については、miniB-CAS カードの台紙に記載されている事項や B-CAS カード使用許諾契約約款などをよくお読みください。
- miniB-CAS カードを使用して、BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送などの有料放送の視聴契約をすることはできません。
- miniB-CAS カードを破損・紛失などされた場合は、お客様より「(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター」へお問い合わせください。カードの再発行には手数料がかかります。
- 本機の修理を依頼される場合は、本機より miniB-CAS カードを抜いてお客様が保管してください。

miniB-CAS カードに関するお問い合わせ先について

miniB-CAS カードについてご不明な点は、以下へお問い合わせください。
(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　B-CAS カスタマーセンター
電話番号：0570-000-250
IP 電話：045-680-2868
受付時間：10:00 ～ 20:00(年中無休)
※お問い合わせの際には、カード裏面に記載された B-CAS カード番号 (20 桁の数字) をオペレーターにお知らせください。

取り付け

本機を車に取り付ける

取り付け位置について

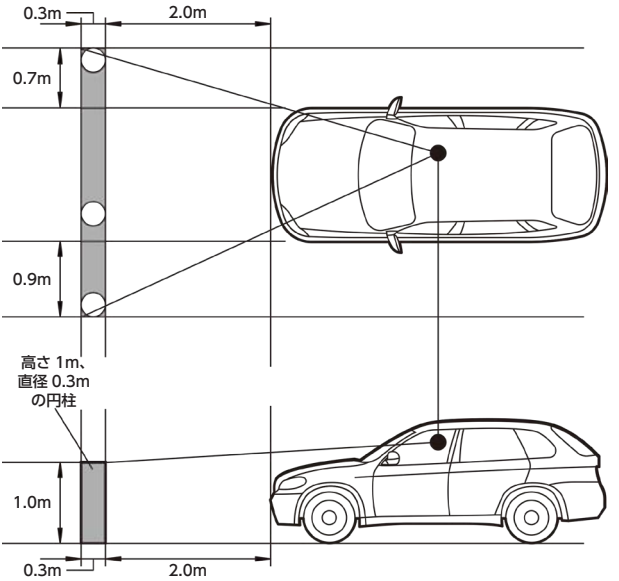
国土交通省の定める保安基準に適合させるため、運転者の視界を妨げないように、「前方視界について」、「直前直左視界について」に従って取り付けてください。

※保安基準とは、道路運送車両の保安基準における第 21 条および第 44 条で定める基準を言います。

前方視界について

自動車の前方 2m にある高さ 1m、直径 0.3m の円柱を鏡などを用いず直接確認できるように取り付けてください。

下図は右ハンドル車の例です。左ハンドルの場合は、左右逆になります。

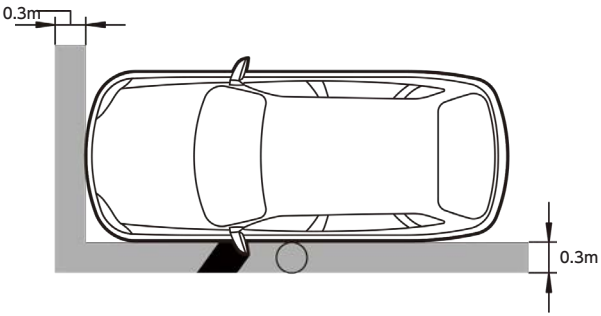


：運転視界基準エリア

◯ ：高さ 1m、直径 0.3m の円柱

直前直左視界について

自動車の前面および左側面 (左ハンドル車においては右側面) に接する高さ 1m、直径 0.3m の円柱を直接に、もしくは鏡、画像などにより間接に確認できるように取り付けてください。下図は右ハンドル車の例です。左ハンドルの場合は、左右逆になります。



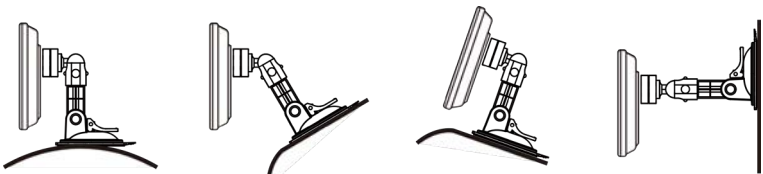
：運転視界基準エリア

：高さ 1m、直径 0.3m の円柱

：適用外エリア

取り付けについてのご注意

- 前面ガラスおよび側面ガラス（運転者席の左右）への取り付けは、保安基準第 29 条に不適合となりますので、絶対におやめください。
- エアバッグ作動時に影響がないように取り付けてください。
- 吸盤スタンドは必ず吸盤スタンドベース板の上に取り付けてください。
- 吸盤スタンドベース板は、布生地、革（合成皮革含む）、極端に目の粗いシボ面、塗装面、曲面、凹凸が大きい車種には貼り付けができない場合があります。
- 必ずダッシュボードの平らな面にしっかり取り付け、安定させてください。
- 以下のような場所には絶対に取り付けないで下さい。吸盤スタンドが外れ落下するおそれがあります。



取り付け面が密着しない曲面　　約 30˚以上傾いた面　　不安定な面　　垂直な面

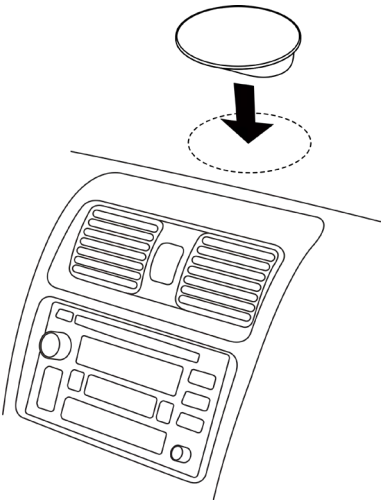
取り付け手順について

1 付属の「吸盤スタンドベース板」を貼り付けます。

①：貼り付け場所のワックス、油、汚れなどをきれいに落としてください。

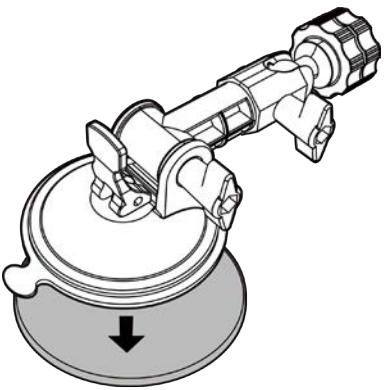
②：裏面のはくり紙をはがし、貼り付けてください。貼り付け直後は粘着力が弱いため、必ず 24 時間以上、吸盤スタンドベースのみの状態で放置してください。また、気温が低い (10℃以下) の場合は粘着力が低下します。低温時を避けて貼り付けてください。

※貼り付け場所の材質、色などによっては、剥がした際に貼り付け跡が目立ったり、粘着部分が残ったりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

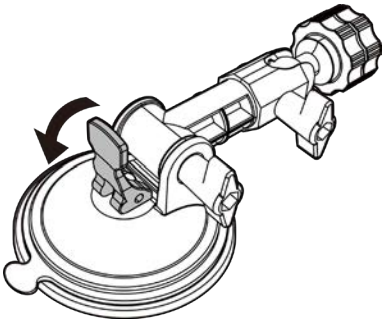


2 付属の「吸盤スタンド」を取り付けます。

①：吸盤スタンドベース板の上に仮置ききします。



②：吸盤スタンド固定レバーを倒して固定します。

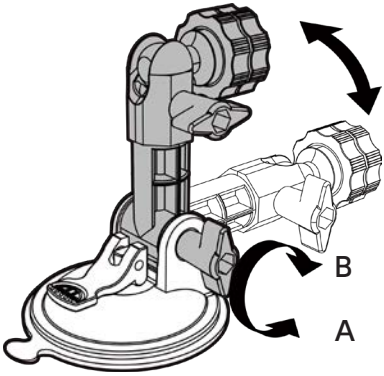


3 吸盤スタンドのアーム角度を調整します。

①：吸盤スタンドアームの止めネジを A の方向に回してゆるめます。

②：吸盤スタンドアームの角度を調整します。

③：吸盤スタンドアームの止めネジを B の方向に回して固定します。

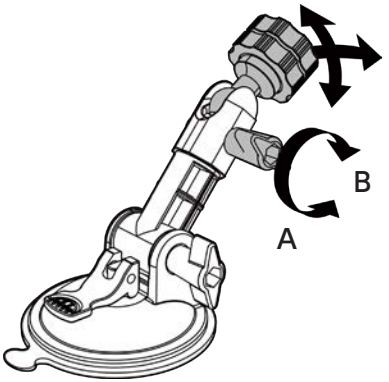


4 本体取り付けステーの角度を調整します。

①：本体取り付けステーの止めネジを A の方向に回してゆるめます。

②：本体取り付けステーの角度を調整します。

③：本体取り付けステーの止めネジを B の方向に回して固定します。

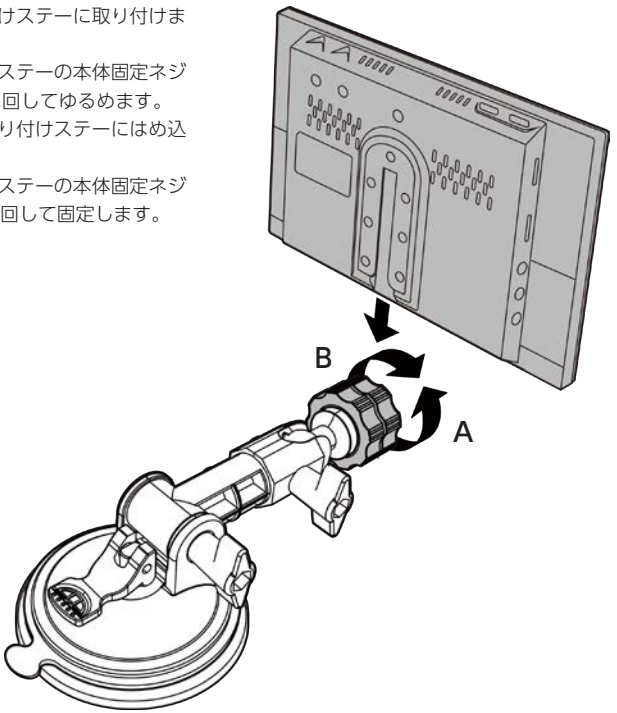


5 本体を本体取り付けステーに取り付けます。

①：本体取り付けステーの本体固定ネジを A の方向に回してゆるめます。

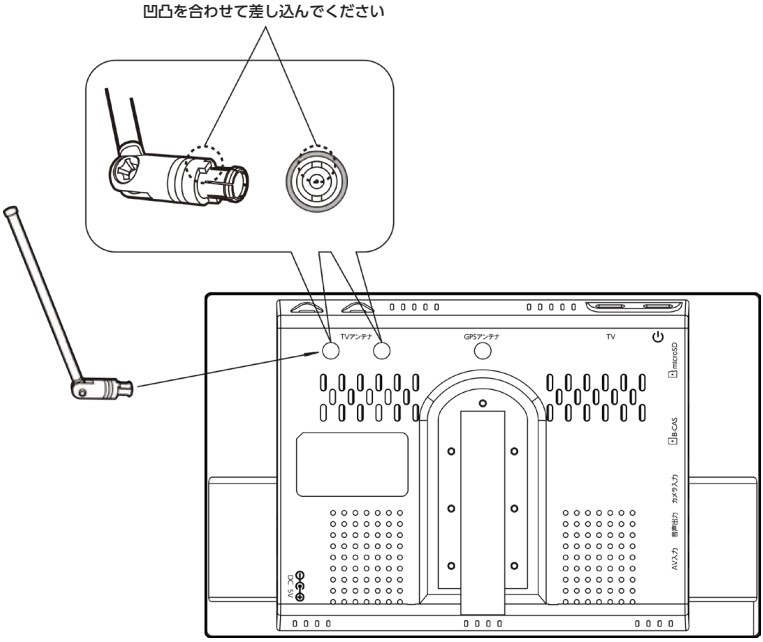
②：本体を本体取り付けステーにはめ込みます。

③：本体取り付けステーの本体固定ネジを B の方向に回して固定します。



ロッドアンテナを取り付ける

付属の「地上デジタル放送用ロッドアンテナ」は、ロッドアンテナの凸とアンテナ接続端子の凹を合わせて差し込んでください。正しく差し込むとカチッと音がします。
取り外す場合は、根元を持って引き抜いてください。

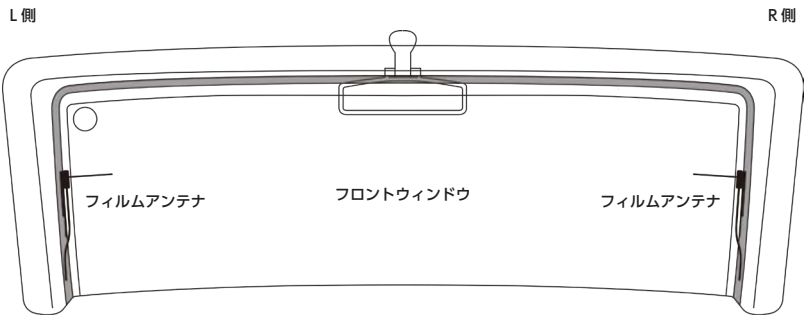


地上デジタル放送用外部アンテナを取り付ける

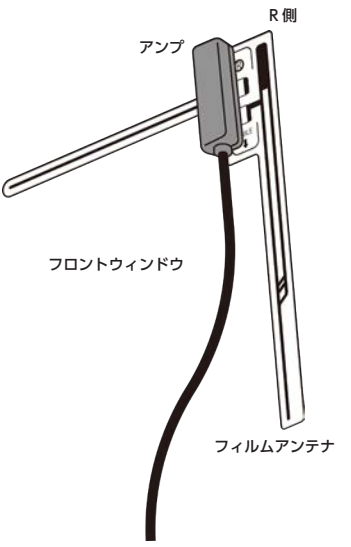
本機に地上デシタル放送用外部アンテナを取り付ける場合は、オプションの「地上デジタル放送用フィルムアンテナ」をご使用ください。指定外の地上デジタル放送用外部アンテナはご使用になれません。

フィルムアンテナについて

- フィルムアンテナは、以下のようにフロントウィンドウの内側に、左右それぞれ各 1 か所貼り付けます。



- フィルムアンテナは、フィルムアンテナ部とアンプ部に分かれています。
  フィルムアンテナ部は、フロントウィンドウに貼り付けます。アンプ部は、フィルムアンテナ部に貼り付けます。

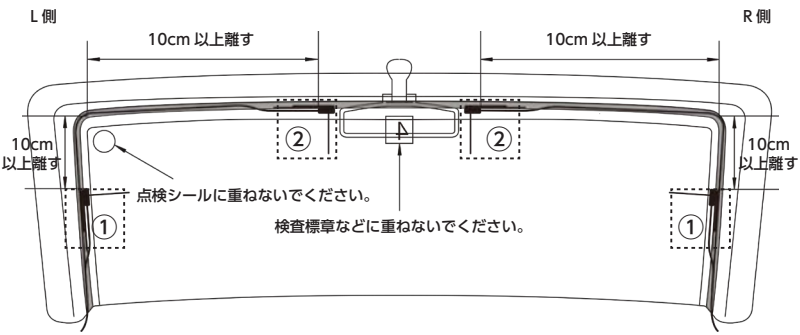


フィルムアンテナ取り付け時の注意点

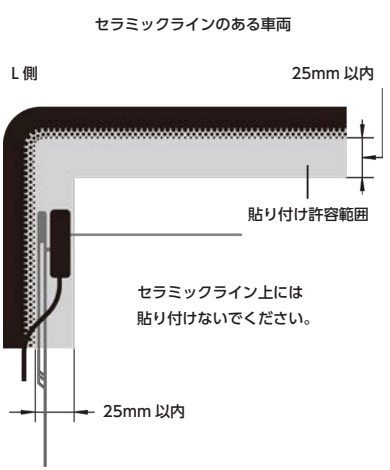
- 取り付けは、本書の記載に従って、必ずその範囲内に取り付けてください。(→ 36 ページの「フィルムアンテナの取り付け位置について」を参照)
- フィルムアンテナは、フロントウィンドウ貼り付け専用です。フロントウィンドウ以外の場所には貼り付けないでください。
- 運転操作の妨げになるところに配線しないでください。また、配線したケーブルは、運転操作の妨げにならないように束ねてください。
- フィルムアンテナの貼り付け、ケーブルの配線などを行うには専門技術が必要になる場合があります。安全のため、専門業者にご相談することをおすすめします。お客様ご自身で行う場合には、安全に十分な注意を払い、自己責任において作業を行なってください。
- フィルムアンテナは、貼り直しができません。左右の貼り間違いや貼り付け位置の間違いがないようにご注意ください。
- フィルムアンテナを貼る前に必ずアンテナ、ケーブルを仮止めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- フィルムアンテナは、繊細な構造になっています。折り曲げたり傷をつけないように慎重にお取り扱いください。
- フィルムアンテナ、アンプ、ケーブルを揮発性の液体 (アルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど) を使用して拭かないでください。
- 車種や使用条件によっては、取り付けられない場合や性能が発揮できない場合があります。
  - 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下する場合があります。
  - ミラーフィルム、蒸着フィルムなどの電波不透過フィルムを施行したガラスの場合には、受信感度が極端に低下する場合があります。
  - エアバッグをピラーに搭載しているお車には、取り付けが困難な場合があります。

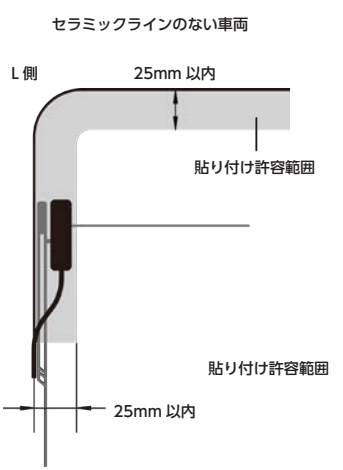
フィルムアンテナの取り付け位置について

- 国土交通省の定める保安基準に適合させるため、運転者の視界を妨げないように、以下に従って取り付けてください。
  ※保安基準とは、道路運送車両の保安基準における第 29 条第 4 項第 6 号に対する、平成 15 年 9 月 26 日付けの運輸省 (現、国土交通省) 令第 95 号をいいます。
- 前方視界の妨げになる場所、運転操作の妨げになる場所、エアバックなどの安全装置の作動に影響のある場所、同乗者に危険をおよぼすような場所には絶対に取り付けないでください。
- 他のフィルムアンテナなどに重ならないように、①か②のいずれかの位置に取り付けてください。(L 側、R 側の各 1 か所)



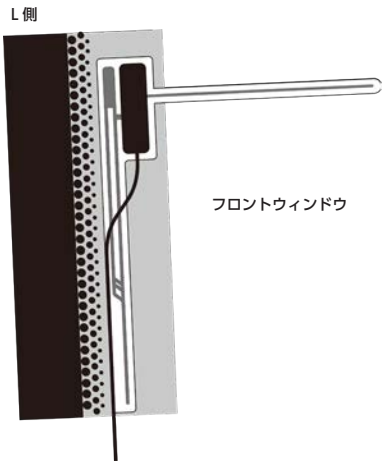
アンプの貼り付け許容範囲について





フィルムアンテナの取り付け手順について

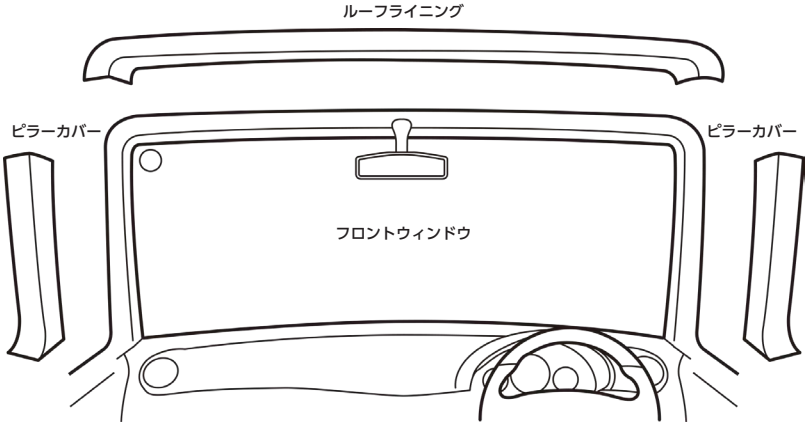
1 フィルムアンテナの取り付け位置を決めます。(→ 36 ページの「フィルムアンテナの取り付け位置について」を参照)



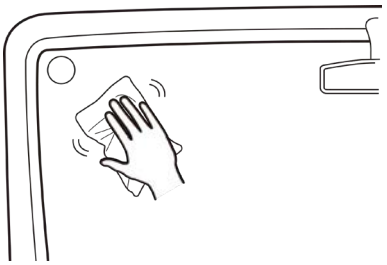
2 ケーブルの配線のために、車内の内張り (ピラーやルーフライニングなど) を取り外します。

※必ず内張りを取り外さなければならない訳ではありません。配線方法やお車の形状などに応じてお客様ご自身でご判断ください。

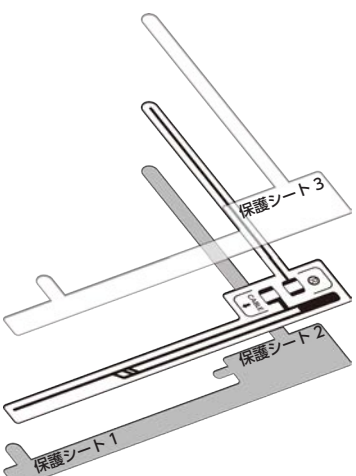
※お客様ご自身で、内張りの取り外しや再取り付けができることをご確認の上、作業を行なってください。作業が難しい場合は、専門業者にご相談ください。

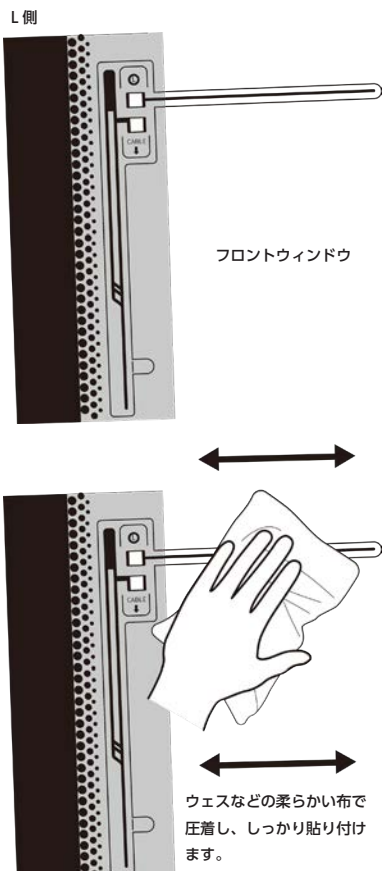


3 フロントウィンドウ内側の貼り付け位置をきれいにします。
薄めた中性洗剤を塗布した布などで貼り付け位置のゴミ、ホコリなどの汚れを拭き落としてください。



4 フロントウィンドウにフィルムアンテナを貼り付けます。
①：フィルムアンテナの保護シート 1 と 2 をはがします。
②：フィルムアンテナをフロントウィンドウに丁寧に貼り付けます。
③：貼り付けた後、ウェスなどの柔らかい布で図のように圧着し、しっかり貼り付けます。
※保護シート 3 は、フィルムアンテナを貼り付けた後、アンプを貼り付ける時にはがします。



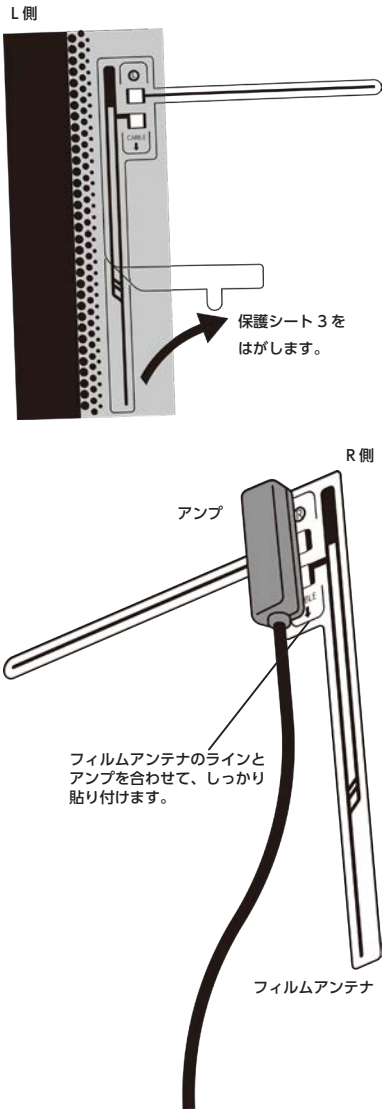


5 フィルムアンテナにアンプを貼り付けます。

①：フィルムアンテナの保護シート 3 はがします。

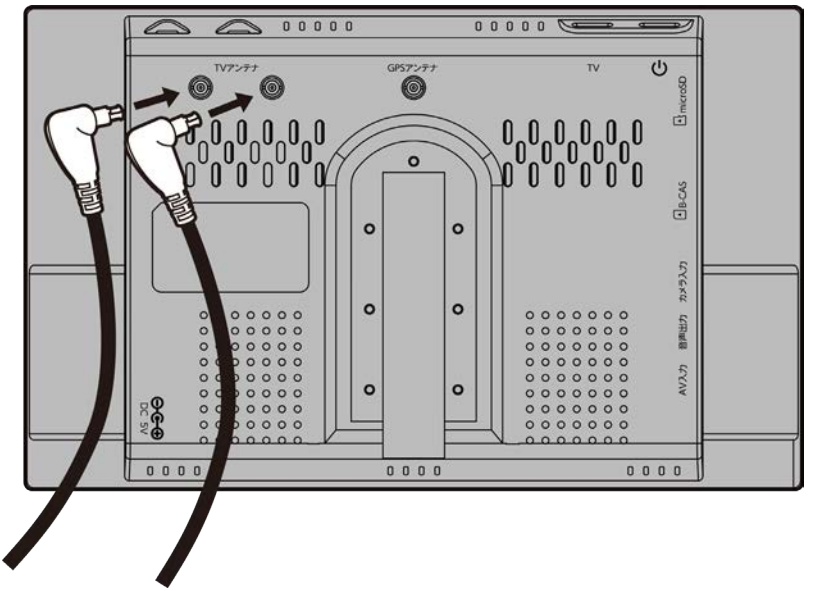
②：アンプの保護シートをはがします。

③：フィルムアンテナのラインとアンプを合わせて、しっかり貼り付けます。



6 フィルムアンテナの貼り付けとケーブルの配線が終わったら、車内の内張り (ピラーやルーフライニングなど) を取り付けます。

7 本体背面の地上デジタル放送用アンテナ端子にフィルムアンテナのケーブル端子を接続します。

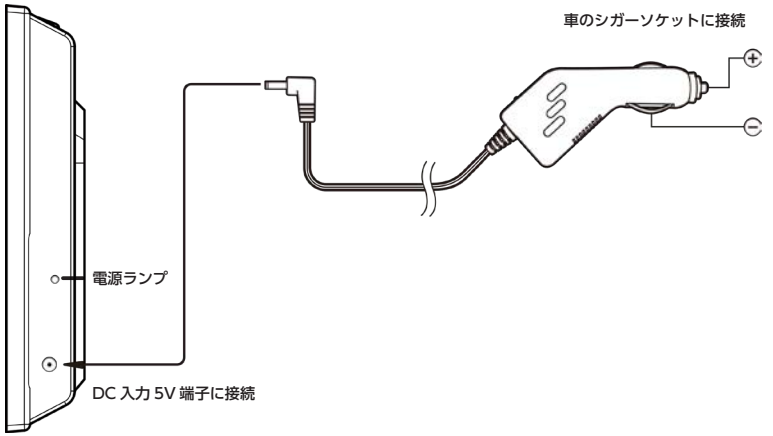


起動とメインメニュー

電源を ON/OFF する

電源を ON する

1 付属の「シガーソケットコード」を本体の DC 入力 5V 端子と車のシガーソケット (アクセサリーソケット) に接続します。



2 車のエンジンを ON します。エンジンキーに連動して本機の電源が ON します。電源が ON すると、本体の電源ランプが点灯します。

電源を OFF する

車のエンジンを OFF します。エンジンキーに連動して本機の電源が OFF します。

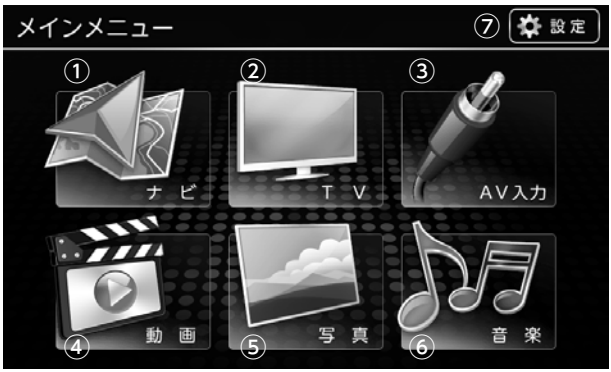
※車のエンジンを OFF しても本機の電源が OFF されない車種の場合は、シガーソケットコードをシガーソケット (アクセサリーソケット) から抜いてください。

画面表示を OFF/ON する

本体上部の電源ボタンを短押しすると、音声はそのままで、画面の OFF/ON をします。

メインメニューについて

本機の電源を ON すると、メインメニューが表示されます。
メインメニューからナビやテレビなどを起動します。



①：[ナビ]
ナビを起動します。(→ 48 ページの「ナビを起動／終了する」を参照)

②：[TV]
テレビを起動します。(→ 114 ページの「テレビを視聴する」を参照)

③：[AV 入力]
本機に接続した外部機器の入力に切り替えます。(→ 129 ページの「外部機器を接続 (AV 入力) する」を参照)

④：[動画]
動画プレーヤーを起動します。(→ 124 ページの「動画を再生する」を参照)

⑤：[写真]
フォトビューアーを起動します。(→ 127 ページの「写真を表示する」を参照)

⑥：[音楽]
音楽プレーヤーを起動します。(→ 121 ページの「音楽を再生する」を参照)

⑦：[設定]
画面の明るさ、スタート画面などの各種システム設定をします。(→ 44 ページの「各種システム設定をする」を参照)

各種システム設定をする

システム設定する

タッチ音の音量、画面の明るさなどを設定します。

1 メインメニューで［設定］➡［システム設定］をタッチします。

2 システム設定内容を変更します。
［決定］をタッチして設定を保存します。

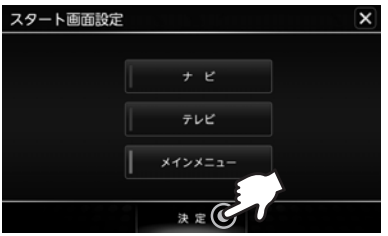
①：画面明るさ（昼）
②：画面明るさ（夜）
昼間と夜間それぞれの画面の明るさを設定します。
※ 4 月～ 9 月は 18:00 ～翌 6:00、10 月～ 3 月は 17:00 ～翌 7:00 が夜間になります。
③：タッチ音
タッチ音の音量を調整します。
④：バックカメラ ON/OFF
ON に設定すると、バックカメラ信号が入力された場合に自動的にバックカメラ画像に切り替えます。

スタート画面を設定する

起動時に表示する画面を設定します。

1 メインメニューで［設定］➡［スタート画面設定］をタッチします。

2 起動時に設定したい画面をタッチして選択します。
［決定］をタッチして設定を保存します。



・ 内容変更後、必ず［決定］をタッチして設定を保存してください。

システム情報を見る

システムバージョンなどのシステム情報を確認します。

1 メインメニューで［設定］➡［システム情報］をタッチします。

2 システム情報が表示されます。
※以下のシステム情報は、製品の表示内容と異なります。

工場出荷時に戻す

ナビ以外の各種システムの設定内容を工場出荷時に戻します。

1 メインメニューで［設定］➡［システム情報］をタッチします。

2 ［工場出荷に戻す］をタッチします。

3 確認メッセージが表示されます。［はい］をタッチします。
ナビ以外の各種システムの設定内容を工場出荷時に戻します。
ナビの初期化は、ナビ内で行ってください。(→ 110 ページの「ナビデータを初期化する」を参照)

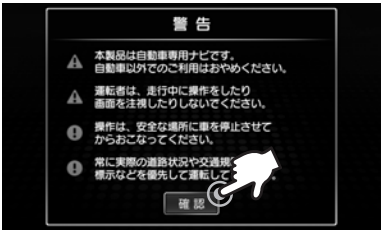
ナビの基本操作

ナビを起動／終了する

ナビを起動する

1 メインメニューで［ナビ］をタッチします。

2 警告画面が表示されます。内容をよくお読みください。
［確認］をタッチします。



3 地図が表示されます。GPS 電波の受信後、現在地が表示されます。

ナビを終了する

1 ［メニュー］➡［終了］をタッチします。

2 ナビが終了し、メインメニューが表示されます。

ナビメニューについて

地図で［メニュー］をタッチしてナビメニューを表示します。

①：[目的地検索]
さまざまな方法で行き先を検索します。(→66 ページの「さまざまな方法で行き先を探す」を参照)

②：[ルート編集]
目的地、出発地、経由地、ルート計算方法を設定して、ルート探索を開始します。(→83 ページの「ルートを編集してルート探索を開始する」を参照)

③：[登録ルート]
登録ルートからルートを設定します。(→103 ページの「登録ルートからルートを設定する」を参照)

④：[登録情報]
登録地点や検索履歴などの登録情報を管理します。(→104 ページの「登録情報を管理する」を参照)

⑤：[GPS 情報]
GPS 情報を表示します。(→108 ページの「GPS 情報を見る」を参照)

⑥：[ナビ設定]
地図の表示内容やルート計算方法などのナビの各種設定をします。(→94 ページの「ナビの各種設定をする」を参照)

⑦：[システム情報]
ナビシステムのバージョン情報を表示します。(→109 ページの「ナビシステム情報を見る」を参照) また、ナビデータの初期化をします。(→110 ページの「ナビデータを初期化する」を参照)

⑧：[Wi-Fi]
WI-Fi を設定します。

⑨：[終了]
ナビを終了します。

⑩：[現在地]
地図 (現在地表示) に戻ります。

地図（現在地表示）について

地図（現在地表示）の表示内容について

①：自車位置アイコン
現在地と進行方向を表示します。GPS 電波を受信している場合は赤色、していない場合は灰色で表示します。
ナビ設定で画面中央に表示するか、画面下に表示するかを設定します。（→ 95 ページの「地図の表示内容を設定する」を参照）

②：前方交差点のレーン情報
前方交差点のレーン情報を表示します。

③：GPS ／みちびき電波受信状態
GPS およびみちびき電波の受信状態を表示します。電波を受信している場合は青色、していない場合は灰色で表示します。

④：地図スケール
現在の地図スケールを表示します。
（→ 56 ページの「地図を拡大／縮小する」を参照）

⑤：道路名／行政名
走行している道路名と住所を交互表示します。
※名称が表示されない道路もあります。

⑥：時刻
GPS 衛星から取得した時刻を表示します。

⑦：Wi-Fi 接続状態
Wi-Fi 接続状態を表示します。

地図 (現在地表示) のボタンについて

①：[メニュー]
ナビメニューを表示します。(→ 49 ページの「ナビメニューについて」を参照)

②：[方位／地図方向アイコン]
地図の方位を表示します。タッチして地図方向を切り替えます。(→ 57 ページの「地図方向を変更する」を参照)

③：[広域] ／ [詳細]
地図のスケールを変更します。(→ 56 ページの「地図を拡大／縮小する」を参照)

④：[AV]
AV メニューを表示します。(→ 58 ページの「ナビと AV 機能を分割表示する」を参照)

⑤：[ミュートアイコン]
音量をミュート (消音) します。

⑥：[音量アイコン]
音量を調整します。

⑦：[自宅登録]
現在地を自宅として登録します。(→ 101 ページの「自宅を登録する」を参照)

⑧：[地点登録]
現在地を地点登録します。(→ 102 ページの「地点を登録する」を参照)

⑨：[周辺検索]
現在地周辺にある施設をジャンルを指定して検索します。

⑩：[道路切替]
自車位置を別の道路に切り替えます。(→ 92 ページの「道路切り替えについて」を参照)

⑪：[ボタン非表示] ／ [ボタン表示]
画面上のボタンを非表示／表示します。
※一部非表示にならないボタンがあります。

地図表示記号について

地図アイコン (例)

	都道府県庁舎		博物館
	市役所・特別区庁舎		銀行
	町村役場・政令指定都市区役所庁舎		信用金庫
	官公署・市町村役場支所（出張所）		飛行場・空港
	消防署（含む：分署・支署・出張所）		港
	自衛隊		フェリーターミナル
	学校		ファミリーレストラン
	病院		山頂
	警察署・交番・駐在所		工場
	図書館		交差点
	海水浴場・（湖水、池）水泳場		サービスエリア
	デパート・スーパー・ショッピング施設		パーキングエリア
	ホテル・旅館・宿泊施設		インターチェンジ
	史跡・旧跡、観光名所		ジャンクション
	神社		料金所
	城・天守閣		ランプ（出入口）
	寺院（仏閣、地蔵）		ランプ（出口専用）
	教会		駐車場
	城跡		サッカースタジアム
	美術館		墓地

	冬季通行止め		スタジアム
	JRA 競馬場・ウインズ		郵便局
	給油・給電		カー用品店
	展望タワー		運動施設
	動物園		公園
	植物園		マリーナ
	水族館	大	大学
	ゴルフ場	短	短大
	温泉	高専	高専
	スキー場	高	高校
	遊園地	中	中学校
	テーマパーク	小	小学校
	キャンプ場		その他目標施設

3D アイコン (例)

日本全国の名所を 3D アイコンで地図上に表示します。
※以下の 3D アイコンは一例です。

東京ドーム

札幌プリンス
ホテルタワー

日本武道館

OAP タワー

ユニバーサル・
スタジオ・ジャパン

小峰城

茨城県立カシマ
サッカースタジアム

とかち帯広空港

さっぽろテレビ塔

フォレストタワー

地図 (スクロール中) について

①：スクロールカーソル

②：[家形アイコン]
家形表示を変更します。(→ 56 ページの「地図の家形表示を変更する」を参照)

③：[地図角度アイコン]
地図の表示角度を変更します。(→ 57 ページの「地図の表示角度を変更する」を参照)
※［地図角度アイコン］は、3D ビューのみ表示されます。

④：[地図回転アイコン]
地図を回転します。(→ 56 ページの「地図を回転する」を参照)

⑤：[クイックルート]
現在地からスクロールカーソル位置までをルート探索して、案内を開始します。(→ 88 ページの「ルート案内について」を参照)

⑥：[ルート探索]
現在地からスクロールカーソル位置までをルート探索します。(→ 86 ページの「ルートを確認して案内を開始する」を参照)

⑦：[自宅登録]
スクロールカーソル位置を自宅として登録します。(→ 101 ページの「自宅を登録する」を参照)

⑧：[地点登録]
スクロールカーソル位置を地点登録します。(→ 102 ページの「地点を登録する」を参照)

⑨：[周辺検索]
スクロールカーソル位置周辺にある施設をジャンルを指定して検索します。

⑩：地名表示
スクロールカーソル位置付近の住所／交差点名／施設名を表示します。

地図を操作する

地図をスクロールする

地図スクロールは、ドラッグ・フリックとタップ・ホールドの 2 種類があります。
スクロールタイプは、ナビ設定で変更します。(→ 95 ページの「地図の表示内容を設定する」を参照)

ドラッグ・フリック

地図をドラッグして表示したい箇所に移動します。
また、フリックで地図を表示したい方向に素早く移動します。(→ 18 ページの「タッチパネルの操作について」を参照)

タップ・ホールド

地図をタッチしてタッチした地点を画面の中心に移動します。
また、スクロールしたい方向の地図を長押しして連続で地図をスクロールします。
(→ 18 ページの「タッチパネルの操作について」を参照)

地図を拡大／縮小する

地図上の［拡大］／［縮小］をタッチして地図を拡大／縮小します。ボタンを長押しして連続で拡大／縮小します。

地図を回転する

地図上の［回転アイコン］をタッチして地図を回転します。

カーソルを中心に地図が左回転 (時計まわり) します。

カーソルを中心に地図が右回転 (反時計まわり) します。

地図の家形表示を変更する

［家形アイコン］をタッチして地図の家形の表示方法を変更します。

家形 (高さあり) を表示します。

家形 (高さなし) を表示します。

家形を表示しません。

地図の表示角度を変更する

地図上の［地図角度アイコン］をタッチして地図の表示角度を変更します。
※表示角度の変更は、3D ビューのみ変更できます。

表示角度を上げます。

表示角度を下げます。

地図方向を変更する

地図上の［方位／地図方向アイコン］をタッチして地図方向を変更します。

ヘディングアップ (進行方向)
常に走行方向が画面の上を向くように進行方向に対応して地図の向きを変化させます。

ノースアップ (北上固定)
常に北の方向が画面の上になるように地図を表示します。

3D ビュー
地図を鳥瞰視点で表示します。地図方向はヘディングアップと同様に、常に走行方向が画面の上を向くように進行方向に対応して地図の向きを変化させます。

ナビと AV 機能を分割表示する

1 地図で［AV アイコン］をタッチします。

2 AV メニューが表示されます。該当 AV 機能をタッチします。

3 ナビ画面と AV 画面が同時に分割表示されます。
ナビ画面をダブルタップすると、ナビ画面を全画面表示します。
※地図以外のナビ画面は、全画面表示されます。

4 ナビ画面が全画面で表示されます。
AV 機能は音声だけになります。
実行中の AV 機能がアイコンで表示されます。［AV アイコン］をタッチすると、分割表示に戻ります。

［TV アイコン］

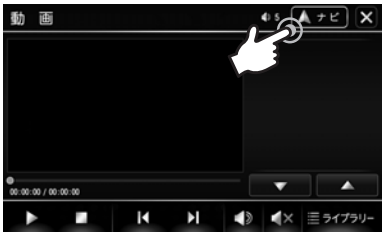
［動画アイコン］

［音楽アイコン］

［AV 入力アイコン］

5 AV 画面の中央付近をダブルタップすると、AV 画面を全画面表示します。

6 AV 画面が全画面で表示されます。
ナビ機能は音声だけになります。
［ナビアイコン］をタッチすると、分割表示に戻ります。



7 AV 画面で［×アイコン］をタッチすると、AV 機能が終了してナビ画面が全画面表示されます。

- ナビと AV 機能を同時に実行している場合は、ナビの音声出力時に AV 機能の音声はミュート (消音) されます。
AV 機能の音声をミュート (消音) したくない場合は、ナビの［ミュートアイコン］をタッチしてナビの音声をミュート (消音) してください。

ナビ画面の共通操作について

現在地に戻る

1 各画面の［現在地］をタッチします。

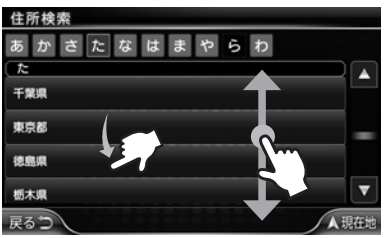
2 地図 (現在地表示) に戻ります。

一つ前の画面に戻る

1 各画面の［戻る］をタッチすると、一つ前の画面に戻ります。

リストをスクロールする

1 リストのスクロールは、スクロールしたい方向にリストをドラッグするか、スクロールしたい方向にリストをフリックします。(→ 20 ページの「リストのスクロール操作について」を参照)



2 ［矢印アイコン］をタッチしてページ送りします。長押すると、連続でページ送りします。

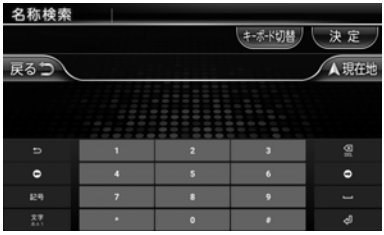
文字入力キーボードについて

施設名検索や駅名検索などで、入力が必要なときは、文字入力キーボードが表示されます。
文字入力キーボードは、ナビ専用キーボード、システム標準キーボードの 2 種類があります。
キーボードの切り替えは、各種入力画面の［キーボード切替］をタッチするか、ナビ設定で行います。(→ 95 ページの「地図の表示内容を設定する」を参照)
※システム標準キーボードのみ漢字入力が可能です。

システム標準キーボード

ひらがな入力モード

英字入力モード



数字入力モード

ナビ専用キーボード

標準

［日英数］をタッチすると、入力モードが、ひらがな→カタカナ→英字→数字の順に変わります。

ひらがな入力モード

［あ］［か］［さ］... それぞれをタッチすると、その行の文字が順に表示されます。

「だ」「ぱ」などの濁音、半濁音は、ひらがなを入力した後に、［゛］［゜］をタッチします。

「ゃ」「ゅ」「ょ」「っ」など小さい文字は、ひらがなを選択した後で［小文字］をタッチします。

［訂正］で 1 文字ずつ消去します。

カタカナ入力モード

英字入力モード

数字入力モード

ひらがな専用

「だ」「ぱ」などの濁音、半濁音は、ひらがなを入力した後に、[゛] [゜] をタッチします。「ゃ」「ゅ」「ょ」「っ」など小さい文字は、ひらがなを選択した後で［小文字］をタッチします。
［訂正］で 1 文字ずつ消去します。

数字専用

［訂正］で 1 文字ずつ消去します。

行き先を探す

さまざまな方法で行き先を探す

［メニュー］➡［目的地検索］をタッチして目的地検索メニューを表示します。メニューに表示されるさまざまな方法を使って、目的地、経由地、出発地を検索します。

①：［検索履歴］
検索履歴から行き先を探します。
（→ 68 ページの「検索履歴から探す」を参照）

②：［自宅］
登録された自宅を行き先にします。
（→ 69 ページの「自宅を行き先にする」を参照）

③：［登録地点］
登録地点から行き先を探します。
（→ 70 ページの「登録地点から探す」を参照）

④：［周辺検索］
現在地周辺の施設から行き先を探します。（→ 71 ページの「周辺施設から探す」を参照）

⑤：［名称］
施設名から行き先を探します。（→ 72 ページの「施設名から探す」を参照）

⑥：［住所］
住所から行き先を探します。（→ 73 ページの「住所から探す」を参照）

⑦：［ジャンル］
施設のジャンルから行き先を探します。
（→ 74 ページの「施設のジャンルから探す」を参照）

⑧：［電話番号］
電話番号から行き先を探します。
（→ 74 ページの「施設のジャンルから探す」を参照）

⑨：［駅名］
駅名から行き先を探します。（→ 76 ページの「電話番号から探す」を参照）

⑩：［地図］
地図から行き先を探します。（→ 78 ページの「地図から探す」を参照）

⑪：［緯度経度］
緯度と経度から行き先を探します。
（→ 79 ページの「緯度と経度から探す」を参照）

検索地点周辺地図について

目的地検索メニューに表示されるさまざまな方法を使って、目的地、経由地、出発地を検索すると、検索地点周辺の地図が表示されます。
行き先が検索地点から離れている場合は、地図をスクロールさせて調整します。

①：[クイックルート]
現在地から探した地点までをルート探索して、案内を開始します。(→ 88 ページの「ルート案内について」を参照)

②：[ルート探索]
現在地から探した地点までのルート探索を開始します。(→ 82 ページの「ルート探索を開始する」を参照)

③：[自宅登録]
探した地点を自宅として登録します。(→ 101 ページの「自宅を登録する」を参照)

④：[地点登録]
探した地点を地点登録します。(→ 102 ページの「地点を登録する」を参照)

⑤：[周辺検索]
探した地点の周辺にある施設をジャンルを指定して検索します。

- ルート編集時は、[クイックルート]、[ルート探索] は表示されずに、[目的地] ／ [出発地] ／ [経由地] が表示されます。それぞれのボタンをタッチして探した地点を目的地／出発地／経由地にします。

- クイックルートではすぐに案内が開始されます。(→ 88 ページの「ルート案内について」を参照)

検索履歴から探す

検索履歴から行き先を探します。
※検索履歴は最大 500 件まで保存されます。

1 [メニュー]➡[目的地検索]➡[検索履歴]をタッチします。

2 検索履歴リストから該当の検索履歴をタッチします。

①：[日時順]
検索履歴を日付の新しい順に並べ替えます。

②：[頻度順]
検索履歴を利用頻度が高い順に並べ替えます。

③：[削除]
検索履歴削除画面を表示します。
(→ 107 ページの「検索履歴を削除する」を参照)

3 選択した検索履歴地点周辺の地図が表示されます。(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)

自宅を行き先にする

自宅を行き先にします。(→ 101 ページの「自宅を登録する」を参照)

1 [メニュー] ➡ [目的地検索] ➡ [自宅] をタッチします。

2 自宅周辺の地図が表示されます。
(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)

登録地点から探す

登録地点から行き先を探します。(→ 102 ページの「地点を登録する」を参照)

1 [メニュー]➡[目的地検索]➡[登録地点]をタッチします。

2 登録地点リストから該当の登録地点をタッチします。

① ② ③

①：[登録順]
登録地点を登録日付の新しい順に並べ替えます。

②：[アイコン順]
登録地点をアイコン種類別に並べ替えます。

③：[編集]
登録地点編集画面を表示します。
(→ 104 ページの「登録情報を管理する」を参照)

3 選択した登録地点周辺の地図が表示されます。(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)

周辺施設から探す

現在地周辺の施設から行き先を探します。

1 [メニュー]➡[目的地検索]➡[周辺検索]をタッチします。

2 ジャンルリスト(大分類)から該当のジャンルをタッチします。

3 ジャンルリスト(小分類)から該当のジャンルをタッチします。

4 検索結果が表示されます。リストから該当の施設をタッチします。

5 選択した施設に出入口情報がある場合、出入口リストが表示されます。
リストから該当の出入口をタッチします。

6 選択した施設周辺の地図が表示されます。(→67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)

施設名から探す

施設名から行き先を探します。

1 ［メニュー］➡［目的地検索］➡［名称］をタッチします。

2 施設名を入力します。入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ 61 ページの「文字入力キーボードについて」を参照) 入力完了後、［決定］をタッチします。
※検索は前方一致で行います。

- ナビ専用キーボードは、ひらがなで名称を入力します。システム標準キーボードは、漢字での名称入力が可能です。

3 検索結果が表示されます。リストから該当の施設をタッチします。

①：[50 音順]
検索結果を 50 音順に並べ替えます。
②：[距離順]
検索結果を距離の近い順に並べ替えます。
③：[絞り込み]
検索結果を都道府県で絞り込みます。

4 選択した施設周辺の地図が表示されます。(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)

住所から探す

住所から行き先を探します。

1 ［メニュー］➡［目的地検索］➡［住所］をタッチします。

2 都道府県リストから該当の都道府県をタッチします。
地名は 50 音順に分類されています。画面上部の［あ］～［わ］をタッチしてリストの頭出しをします。

3 都道府県と同様に、市区町村➡町名➡丁目➡番地➡号と順番に選択します。
番地、号では、画面上部の［数字］をタッチしてリストの頭出しをします。

4 選択した住所周辺の地図が表示されます。(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)

- 番地など住所の詳細が分からない場合は、各リストに表示されている［代表地点］をタッチして選択した住所の代表地点を表示します。

施設のジャンルから探す

施設のジャンルから行き先を探します。

1 [メニュー]➡[目的地検索]➡[ジャンル]をタッチします。

2 ジャンルリスト(大分類)から該当のジャンルをタッチします。

3 ジャンルリスト(小分類)から該当のジャンルをタッチします。

4 都道府県リストから該当の都道府県をタッチします。
地名は 50 音順に分類されています。画面上部の［あ］～［わ］をタッチしてリストの頭出しをします。

5 都道府県と同様に、市区町村を選択します。

6 検索結果が表示されます。リストから該当の施設をタッチします。

①：[50 音順]
検索結果を 50 音順に並べ替えます。
②：[距離順]
検索結果を距離の近い順に並べ替えます。

7 選択した施設に出入口情報がある場合、出入口リストが表示されます。
リストから該当の出入口をタッチします。

8 選択した施設周辺の地図が表示されます。(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)

電話番号から探す

電話番号から行き先を探します。
本機にはハローページに掲載されている全国の施設、お店、企業などの電話番号が収録されています。
※個人宅の電話番号は収録されていません。

1 ［メニュー］➡［目的地検索］➡［電話番号］をタッチします。

2 電話番号を入力します。入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→61 ページの「文字入力キーボードについて」を参照)
入力完了後、［決定］をタッチします。

3 検索結果が表示されます。リストから該当の施設をタッチします。

4 選択した施設周辺の地図が表示されます。(→67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)

駅名から探す

駅名から行き先を探します。
本機には全国の JR・私鉄・地下鉄・その他鉄道の駅が収録されています。

1 ［メニュー］➡［目的地検索］➡［駅名］をタッチします。

2 駅名を入力します。入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ 61 ページの「文字入力キーボードについて」を参照)
入力完了後、［決定］をタッチします。
※検索は前方一致で行います。

- ナビ専用キーボードは、ひらがなで名称を入力します。システム標準キーボードは、漢字での名称入力が可能です。

3 検索結果が表示されます。リストから該当の駅をタッチします。

4 選択した駅に出入口情報がある場合、出入口リストが表示されます。
リストから該当の出入口をタッチします。

5 選択した駅周辺の地図が表示されます。
(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)

地図から探す

地図から行き先を探します。

1 ［メニュー］➡［目的地検索］➡［地図］をタッチします。

2 地図をスクロールさせて行き先を探します。(→ 55 ページの「地図をスクロールする」を参照)

3 行き先にカーソルを合わせます。(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)

緯度と経度から探す

緯度と経度から行き先を探します。

1 ［メニュー］➡［目的地検索］➡［緯度経度］をタッチします。

2 緯度と経度を入力します。入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ 61 ページの「文字入力キーボードについて」を参照)
入力する緯度と経度は、日本測地系、世界測地系の２種類から選択します。
入力完了後、［決定］をタッチします。

3 入力した緯度と経度周辺の地図が表示されます。(→ 67 ページの「検索地点周辺地図について」を参照)

ルート探索と案内

ルート探索を開始する

ルート探索は以下の方法で開始します。

- 目的地検索メニューや地図から目的地を探してルート探索を開始します。
- ルート編集画面で、目的地、出発地、経由地、ルート計算方法を設定して、ルート探索を開始します。

目的地を探してルート探索を開始する

目的地検索メニューや地図から目的地を探してルート探索を開始します。

1 目的地検索メニューから目的地を探します。(→ 66 ページの「さまざまな方法で行き先を探す」を参照)
または、地図をスクロールさせて目的地を探します。

2 目的地周辺地図で、[ルート探索] もしくは [クイックルート] をタッチしてルート探索を開始します。

- ナビ設定で指定された条件でルート探索します。(→ 96 ページの「ルート探索を設定する」を参照)

- クイックルートではすぐに案内が開始されます。(→ 88 ページの「ルート案内について」を参照)

3 目的地の周辺に有料道路がある場合、目的地を一般道路上と有料道路上のどちらにするかを選択するポップアップが表示されます。目的地を有料道路上に設定したい場合は [はい] を、一般道路上に設定したい場合は [いいえ] をタッチします。

4 ルート探索完了後、ルート全景画面が表示されます。(→ 86 ページの「ルートを確認して案内を開始する」を参照)

ルートを編集してルート探索を開始する

目的地、出発地、経由地、ルート計算方法を設定して、ルート探索を開始します。

1 ［メニュー］➡［ルート編集］をタッチします。

2 目的地、出発地、経由地、ルート計算方法を設定して、ルート探索を開始します。

①：［目的地］
目的地検索メニューから目的地を探します。(→ 66 ページの「さまざまな方法で行き先を探す」を参照)

②：［目的地削除アイコン］
目的地を削除します。

③：［経由地］
経由地を設定します。(→ 84 ページの「経由地を設定する」を参照)

④：［出発地］
目的地検索メニューから出発地を探します。(→ 66 ページの「さまざまな方法で行き先を探す」を参照)

⑤：［出発地削除アイコン］
出発地を現在地にします。

⑥：［おすすめ］／［有料優先］／［一般優先］／［距離優先］
ルート計算方法を設定します。(→ 85 ページの「ルート計算方法について」を参照)
※時間規制考慮、フェリー利用、スマート IC 利用などの条件は、ナビ設定で変更します。(→ 96 ページの「ルート探索を設定する」を参照)

⑦：［ルート探索］
ルート探索を開始します。ルート探索完了後、ルート全景画面が表示されます。(→ 86 ページの「ルートを確認して案内を開始する」を参照)

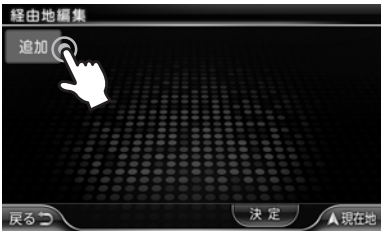
⑧：［帰路アイコン］
出発地と目的地を入れ替えます。

経由地を設定する

ルート編集画面で、立ち寄りたい場所を経由地に設定します。
※経由地は最大 5 ヶ所まで設定できます。

1 ルート編集画面で［経由地］をタッチします。

2 経由地編集画面が表示されます。［追加］をタッチします。



3 目的地検索メニューから経由地を探します。(→ 66 ページの「さまざまな方法で行き先を探す」を参照)

4 経由地周辺地図で、［経由地］をタッチします。

5 経由地が追加されました。
次の経由地を追加します。ルート探索時には、上から順番に探索されます。
経由地の設定を完了するには［決定］をタッチします。

①：［追加］
経由地の上の［追加］をタッチすると、その経由地の前に、下の［追加］をタッチすると、その経由地の後に、新しい経由地を追加します。
②：［経由地削除アイコン］
経由地を削除します。

6 経由地が設定されました。
経由地には現在設定されている最初の経由地を表示します。経由地が複数の場合は最初の経由地とその他の経由地数を表示します

- 通りたい道や交差点を、経由地に設定することによって、希望するルートに近いルートを探索できます。

ルート計算方法について

ルート計算方法は、以下の 4 つがご利用になれます。

- おすすめ
  道路幅の広い幹線道路を優先して探索します。そのため目的地までの距離が他の探索条件よりも長くなる場合があります。
- 有料優先
  有料道路をなるべく使ったルートを探索します。目的地までの距離が短い場合や目的地方向に有料道路の IC がない場合など、条件によっては有料道路を使用しない場合があります。
- 一般優先
  有料道路をなるべく使わないルートを探索します。
  ※目的地までの直線距離がおよそ 500㎞以内の場合にご利用が可能です。
- 距離優先
  なるべく距離が短いルートを探索します。
  ※道路条件などによっては、必ず最短距離になるとは限りません。
  ※目的地までの直線距離がおよそ 300km 以内の場合にご利用が可能です。

ルート探索時の注意点

- 出発地と目的地が近すぎるとルート探索できない場合があります。
- 出発地、目的地の近くに、ルート探索可能な道路がない場合、ルート探索できない場合があります。出発地、目的地ををなるべく幅の広い道路上に移動してください。
- ルート計算方法の「一般優先」は、目的地までの直線距離がおよそ 500㎞以内の場合にご利用が可能です。500km を超える場合は、「おすすめ」でルート探索します。
- ルート計算方法の「距離優先」は、目的地までの直線距離がおよそ 300㎞以内の場合にご利用が可能です。300km を超える場合は、「おすすめ」でルート探索します。
- フェリーを利用する場合は、ナビ設定でフェリー利用を「する」に設定してください。
  (→ 96 ページの「ルート探索を設定する」を参照)
- 設定した条件によっては、ルート探索できない場合があります。その場合は、条件を変更して、再度ルート探索を行ってください。

経由地設定時の注意点

- 経由地を設定すると、経由地から一番近い道路を通るようにルート探索します。そのため、ルート探索結果が経由地付近で最適にならない場合があります。
- 経由地はできる限り立ち寄りたい場所に近い道路上に設定してください。
- 以下のような場所を経由地として設定すると、ルート探索できない場合があります。
  - 一方通行道路上に経由地を設定する。
  - 道路から離れた地点を経由地に設定する。
  - 経由地と目的地、出発地、経由地の間を近くに設定する。
  - 海、離島などに経由地を設定する。
- 複数の経由地を設定した場合、目的地までの走行距離が長くなる場合があります。
- 複数の経由地を設定した場合、ルート探索に時間がかかる場合があります。

ルートを確認して案内を開始する

1 ルート探索を開始します。(→ 82 ページの「ルート探索を開始する」を参照)

2 ルート探索完了後、ルート全景画面が表示されます。

①：走行距離と所要時間
各ルート計算方法でのルートの走行距離と所要時間を表示します。
※所要時間は、道路別に設定された走行速度から計算した参考値です。そのため、実際とは大きく異なる場合あります。道路別の走行速度は、ナビ設定で変更します。(→ 96 ページの「ルート探索を設定する」を参照)

②：[おすすめ] ／ [有料優先] ／ [一般優先] ／ [距離優先]
それぞのルート計算方法でルート探索して、探索結果を表示します。(→ 85 ページの「ルート計算方法について」を参照)

③：[ルート案内]
ルート案内を開始します。(→ 88 ページの「ルート案内について」を参照)

④：[デモ走行]
ルート上の案内地点一覧とその案内内容を確認します。(→ 87 ページの「デモ走行する」を参照)

⑤：[ルート情報]
通るルートと案内内容をデモ走行で確認します。(→ 87 ページの「ルート情報を見る」を参照)

⑥：[ルート保存]
現在のルートを保存します。保存したルートは呼び出して利用します。(→ 103 ページの「登録ルートからルートを設定する」を参照)

ルート情報を見る

ルート上の案内地点一覧とその案内内容を確認します。

1 ルート探索を開始します。(→ 82 ページの「ルート探索を開始する」を参照)

2 ルート探索完了後、ルート全景画面が表示されます。
［ルート情報］をタッチします。

3 案内地点リストが表示されます。
地図上で確認したい案内地点をタッチします。

4 案内地点周辺の地図が表示されます。
［前へ］、［次へ］をタッチして案内地点を移動します。

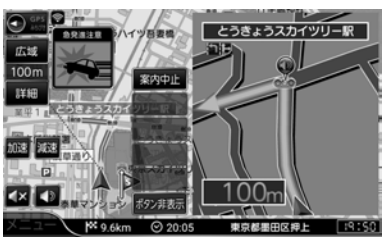
デモ走行する

通るルートと案内内容をデモ走行で確認します。

1 ルート探索を開始します。(→ 82 ページの「ルート探索を開始する」を参照)

2 ルート探索完了後、ルート全景画面が表示されます。
［デモ走行］をタッチします。

3 デモ走行が開始されます。
［加速］、［減速］をタッチしてデモ走行の速度を調節します。



ルート案内について

目的地周辺地図で［クイックルート］をタッチするか、ルート全景画面で［ルート案内］をタッチしてルート案内を開始します。

一般道路の案内画面について

①：ルート線
走行すべき道路を強調表示します。

②：案内地点情報
次の案内地点の情報 (案内地点までの距離、進路変更の方向、交差点名、レーン情報) を表示します。

③：前方交差点のレーン情報
前方交差点のレーン情報を表示します。
走行レーンは、青色で表示します。

④：目的地までの距離
目的地までのルートの走行距離を表示します。

⑤：到着予想時刻
目的地に着く予想時刻を表示します。
※到着予想時刻は、道路別に設定された走行速度から計算した参考値です。そのため、実際とは大きく異なる場合あります。道路別の走行速度は、ナビ設定で変更します。(→ 96 ページの「ルート探索を設定する」を参照)

⑥：道路名／行政名
走行している道路名と住所を交互表示します。
※名称が表示されない道路もあります。

⑦：［案内中止］
ルート案内を中止します。

⑧：［リルート］
リルートします。(→ 92 ページの「リルートについて」を参照)

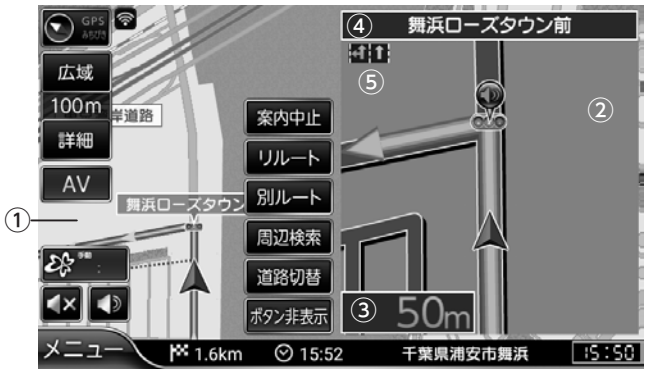
⑨：［別ルート］
ルート全景画面を表示します。(→ 86 ページの「ルートを確認して案内を開始する」を参照)

⑩：［周辺検索］
現在地または目的地周辺にある施設をジャンルを指定して検索します。

⑪：［道路切替］
自車位置を別の道路に切り替えます。
(→ 92 ページの「道路切り替えについて」を参照)

交差点拡大図について

一般道路を走行中は、案内地点付近になると 2 画面表示になります。左画面には通常地図、右画面には案内地点の拡大図が表示されます。



①：通常地図
　通常地図を表示します。2 画面表示時の地図の縮尺は、ナビ設定で変更します。(→ 95 ページの「地図の表示内容を設定する」を参照)

②：案内地点の拡大図
　案内地点を拡大して表示します。

③：残距離
　案内地点までの残距離を表示します。

④：交差点名表示
　案内地点の交差点名を表示します。

⑤：車線情報
　案内地点のレーン情報を表示します。進入レーンは、青色で表示します。

- 交差点拡大図をタッチして非表示にします。非表示にすると［拡大図］が表示されます。タッチして再表示します。
  ※非表示にするとハイウェイガイド、イラストガイドも非表示になります。

ハイウェイガイドについて

高速道路を走行中は、2 画面表示になります。左画面には通常地図、右画面にはハイウェイガイドが表示されます。

①：通常地図

通常地図を表示します。2 画面表示時の地図の縮尺は、ナビ設定で変更します。(→ 95 ページの「地図の表示内容を設定する」を参照)

②：道路名／住所

走行中の高速道路名と住所を交互に表示します。

※名称が表示されない道路もあります。

③：高速道路施設情報

3 つ先までの IC、JCT、SA/PA などの高速道路の施設情報を表示します。

それぞれの施設までの距離、到着予想時刻、進路変更方向を表示します。

SA/PA では駐車場の情報やレストランなどの情報を表示します。施設情報をタッチしてさらに詳しい施設詳細を表示します。

※到着予想時刻は、道路別に設定された走行速度から計算した参考値です。そのため、実際とは大きく異なる場合あります。道路別の走行速度は、ナビ設定で変更します。(→ 96 ページの「ルート探索を設定する」を参照)

④：[スクロールアイコン]

高速道路施設情報をスクロールします。

- 最後の施設情報を表示します。
- 一区間前の施設情報を表示します。
- 一区間先の施設情報を表示します。
- 現在地を表示します。

・ ハイウェイガイドをタッチして非表示にします。非表示にすると［ハイウェイ］が表示されます。タッチして再表示します。
※非表示にすると交差点拡大図、イラストガイドも非表示になります。

イラストガイドについて

一部の交差点や高速道路の分岐などでは、イラストガイドで案内します。

高速分岐イラストガイド

高速出口後分岐イラストガイド

高速出口後方面イラストガイド

3D リアル交差点イラストガイド

方面看板イラストガイド

都市高速出入口イラストガイド

- イラストガイドをタッチして非表示にします。非表示にすると［拡大図］が表示されます。タッチして再表示します。
  ※非表示にすると交差点拡大図、ハイウェイガイドも非表示になります。

リルートについて

リルートは、案内中にルートから外れた場合に、現在地から目的地までルート探索し直す機能です。
リルートを自動で行うか、手動で行うかは、ナビ設定で変更します。
自動に設定した場合は、ルートから外れた場合、自動的にリルートします。
手動に設定した場合は、ルートから外れても自動的にリルートは行いません。リルートする場合は、［リルート］をタッチします。
※手動に設定した場合、ルートを外れると案内をしなくなりますが、ルートに戻ると案内を再開します。

道路切り替えについて

道路切り替えは、隣接して平行した道路を走行中に、自車位置が走行していない道路上になってしまった場合に、自車位置を別の道路に切り替える機能です。
［道路切替］をタッチして道路を切り替えます。
※切り替え可能な道路がない場合はタッチできません。

トンネルアシストについて

トンネルアシストは、トンネル内で GPS 電波が受信ができない場合に、以前の GPS 情報から走行速度を予測して、トンネルの出口まで仮想走行を行い、ルート案内を続ける機能です。
GPS 電波を受信した場合は、通常のルート案内に戻ります。
※実際の走行とは誤差が生じる場合があります。
※ルート案内中のみ動作します。フリー走行中は、動作しません。

ナビの設定と登録情報

ナビの各種設定をする

地図の表示内容やルート計算方法など、ナビの各種設定をします。

1 ［メニュー］➡［ナビ設定］をタッチしてナビ設定メニューを表示します。

①：［地図表示］
地図の表示内容を設定します。(→ 95 ページの「地図の表示内容を設定する」を参照)

②：［ランドマーク］
地図上に表示するコンビニやファーストフードなどのランドマークアイコンを設定します。(→ 100 ページの「ランドマークを設定する」を参照)

③：［ルート探索］
ルート計算方法やリルートなどルート探索について設定します。(→ 96 ページの「ルート探索を設定する」を参照)

④：［ルート案内］
案内音声や合流案内などルート案内について設定します。(→ 97 ページの「ルート案内を設定する」を参照)

⑤：［安全運転ガイド］
事故多発地点案内や踏切案内など安全運転ガイドについて設定します。(→ 98 ページの「安全運転ガイドを設定する」を参照)

⑥：［アプリケーション］
文字入力キーボードや地図スクロール方法などアプリケーションについて設定します。(→ 98 ページの「安全運転ガイドを設定する」を参照)

⑦：［VICS］
VICS について設定します。(→ 140 ページの「VICS を設定する」を参照)

⑧：［設定初期化］
すべての設定を既定値にします。

2 左側の設定項目リストから該当の設定項目をタッチして右側の設定値リストから該当の設定値をタッチします。

地図の表示内容を設定する

設定項目	内容	
地図色	地図の背景色を設定します。	
	昼モード	明るくて、見やすい色で表示します。
	夜モード	暗闇で眩しすぎず、見やすい色で表示します。
	オート	現在時刻から自動的に地図色を切り替えます。 4 月～ 9 月は 18:00 ～翌 6:00、10 月～ 3 月は 17:00 ～翌 7:00 が夜モードになります。
地図上の文字サイズ	地図上の文字サイズを設定します。	
	小	指定された文字サイズで、地図上の文字を表示します。
	標準	
	大	
	特大	
地図方向	地図方向を設定します。	
	ヘディングアップ (進行方向)	常に走行方向が画面の上を向くように進行方向に対応して地図の向きを変化させます。
	ノースアップ (北上固定)	常に北の方向が画面の上になるように地図を表示します。
	3D ビュー	地図を鳥瞰視点で表示します。地図方向はヘディングアップと同様に、常に走行方向が画面の上を向くように進行方向に対応して地図の向きを変化させます。
フロントワイド	地図上の自車位置アイコンの表示位置を設定します。	
	する	前方を広く表示します。
	しない	画面の中央に表示します。
家形表示	地図上の家形の表示方法を設定します。	
	表示する (高さあり)	家形を表示して、高さを付けます。 ※ 3D ビューのみ表示します。 ※ 50m 以下のスケールで表示します。
	表示する (高さなし)	家形を表示して、高さを付けません。 ※ 100m 以下のスケールで表示します。
	表示しない	家形を表示しません。
3D アイコン表示	日本全国の名所の実際の形に近い 3D アイコンの表示有無を設定します。 ※ 100m 以下のスケールで表示します。	
走行軌跡表示	走行軌跡の表示有無を設定します。	
目的地方向線	目的地を指す方向線の表示有無を設定します。	

ルート探索を設定する

設定項目	内容	
リルート	ルート案内中にルートを外れた場合のリルート方法を設定します。(→ 92 ページの「リルートについて」を参照)	
	オート	ルートから外れた場合、自動的にリルートします。
	手動	ルートから外れても自動的にリルートは行いません。リルートする場合は、［リルート］をタッチします。
ルート計算	ルート探索時のルート計算方法を設定します。	
	おすすめ	指定された計算方法で、ルート探索を行います。
	有料優先	
	一般優先	
	距離優先	
フェリー利用	ルート探索時にフェリー利用を考慮するかどうかを設定します。	
スマート IC 利用	ルート探索時にスマート IC 利用を考慮するかどうかを設定します。	
時間規制考慮	ルート探索時に時間規制を考慮するかどうかを設定します。 ※時間規制はルート探索開始時刻を基準に考慮します。 ※祝祭日指定の時間規制は考慮しません。 ※目的地によっては、時間規制を考慮した結果、ルート探索できない場合があります。	
渋滞情報考慮	ルート探索時に渋滞情報を考慮するかどうかを設定します。(→ 139 ページの「VICS 情報を考慮したルート探索について」を参照)	
到着予想時刻計算速度 (高速道)	到着予想時刻の計算に利用する高速道の走行速度を設定します。	
	60km/h	
	80km/h	
	100km/h	
到着予想時刻計算速度 (一般道)	到着予想時刻の計算に利用する一般道の走行速度を設定します。	
	20km/h	
	30km/h	
	40km/h	
	50km/h	
	60km/h	

ルート案内を設定する

設定項目	内容	
トンネルアシスト	トンネルアシストを行うかどうかを設定します。(→ 92 ページの「トンネルアシストについて」を参照)	
ルート案内音	ルート案内方法を設定します。	
	音声	案内地点を音声でお知らせします。
	警告音	案内地点を警告音でお知らせします。
	しない	音声・警告音による案内をせず、ガイド表示のみで案内します。
2 画面時縮尺	2 画面表示の場合に、左画面に表示される地図スケール (縮尺) を設定します。	
	50m スケール	2 画面表示時に、左画面の地図スケールを設定したスケールで表示します。
	100m スケール	
	200m スケール	
	固定しない	2 画面表示時に、左画面の地図スケールを全画面表示時の地図スケールのまま表示します。
右左折専用レーン案内	右左折専用レーンをガイド表示と音声で案内するかどうかを設定します。	
合流案内	合流道路をガイド表示と音声で案内するかどうかを設定します。	

安全運転ガイドを設定する

設定項目	内容	
オービス案内	オービスポイントの案内方法を設定します。 ※オービスポイントは過去にオービス機が設置された地点の目安です。確実なものではありません。	
	音声	オービスポイントを音声でお知らせします。
	警告音	オービスポイントを警告音でお知らせします。
	しない (アイコンも非表示)	音声・警告音による案内をしません。地図上のオービスアイコンも表示しません。
オービス検索	オービスポイントの検索範囲を設定します。	
	500m	指定された検索範囲 (半径) で、オービスポイントを検索します。
	1km	
	2km	
事故多発地点案内	交通事故が多発している交差点や道路をガイド表示と音声で案内するかどうかを設定します。	
踏切案内	踏切をガイド表示と音声で案内するかどうかを設定します。	
一時停止案内	一時停止をガイド表示と音声で案内するかどうかを設定します。	
休憩案内	休憩を 2 時間ごとにガイド表示と音声で促すかどうかを設定します。	
ライト点灯案内	ライト点灯をガイド表示と音声で促すかどうかを設定します。 ※ 4 月～ 9 月は 18 時、10 月～ 3 月は 17 時に案内します。	
急発進注意	急発進を検知した場合に、ガイド表示と音声でお知らせするかどうかを設定します。 ※約 5 秒の間に車速変化が約 40km/h 以上の場合に、急発進と判断します。	
トンネル案内	トンネルをガイド表示と音声で案内するかどうかを設定します。	

アプリケーションを設定する

設定項目	内容	
測地系設定	地図で表示する座標、緯度経度検索、GPS 情報画面で利用する緯度と経度の測地系を設定します。	
	日本測地系	設定した測地系を利用します。
	世界測地系	
文字入力キーボード	各種入力画面で利用する入力キーボードを設定します。	
	システム標準	設定したキーボードを利用します。(→61 ページの「文字入力キーボードについて」を参照)
	ナビ専用	
スクロールタイプ	地図のスクロール方法を設定します。	
	ドラッグ・フリック	地図をドラッグして表示したい箇所に移動します。 また、フリックで地図を表示したい方向に素早く移動します。(→18 ページの「タッチパネルの操作について」を参照)
	タップ・ホールド	地図をタッチしてタッチした地点を画面の中心に移動します。 また、スクロールしたい方向の地図を長押しして連続で地図をスクロールします。(→18 ページの「タッチパネルの操作について」を参照)
警告画面表示	起動時に警告画面を表示するかどうかを設定します。	

ランドマークを設定する

地図上に表示するコンビニやファーストフードなどのランドマークアイコンを設定します。

1 [メニュー] ➡ [ナビ設定] ➡ [ランドマーク] をタッチします。

2 ランドマークジャンルリスト（大分類）から該当のジャンルをタッチします。
タッチしたジャンルは選択状態になり、反転表示されます。
再度タッチすると、選択が解除されます。
[全選択]、[全解除] をタッチしてすべてのジャンルを選択／解除します。

3 一部のジャンルでは、ジャンルリスト（小分類）が表示されます。ジャンル（大分類）と同様に、ジャンル（小分類）を選択します。

自宅を登録する

自宅を登録します。登録した自宅は、地図上にアイコンで表示されます。

地図から登録する

1 自宅まで地図を移動します。

2 [自宅登録] をタッチします。

3 登録完了メッセージが表示されます。[確認] をタッチします。

4 地図上に自宅がアイコンで表示されます。

地点を検索して登録する

1 地点を検索します。(→ 66 ページの「さまざまな方法で行き先を探す」を参照)

2 [自宅登録] をタッチします。

3 登録完了メッセージが表示されます。[確認] をタッチします。

4 地図上に自宅がアイコンで表示されます。

地点を登録する

よく利用する地点を登録します。登録した地点は、地図上にアイコンで表示されます。
※地点は最大 500 件まで登録できます。

地図から登録する

1 登録したい地点まで地図を移動します。

2 [地点登録] をタッチします。

3 登録完了メッセージが表示されます。[確認] をタッチします。

4 地図上に登録地点がアイコンで表示されます。

地点を検索して登録する

1 地点を検索します。(→ 66 ページの「さまざまな方法で行き先を探す」を参照)

2 [地点登録] をタッチします。

3 登録完了メッセージが表示されます。[確認] をタッチします。

4 地図上に登録地点がアイコンで表示されます。

ルートを登録する

ルートを登録する

よく利用するルートを登録します。
※ルートは最大 10 件まで登録できます。

1 ルートを探索します。(→ 82 ページの「ルート探索を開始する」を参照)

2 ルート全景で［ルート保存］をタッチします。(→ 86 ページの「ルートを確認して案内を開始する」を参照)

3 登録完了メッセージが表示されます。[確認］をタッチします。

登録ルートからルートを設定する

1 ［メニュー］➡［登録ルート］をタッチします。

2 登録ルートリストが表示されます。リストから該当ルートをタッチします。

3 登録ルートの内容がルート編集画面にセットされます。

登録情報を管理する

登録地点名を変更する

1 ［メニュー］➡［登録情報］➡［登録地点編集］をタッチします。

2 登録地点リストが表示されます。リストから地点名を変更したい登録地点をタッチします。

3 編集内容選択ポップアップが表示されます。
［名称変更］をタッチします。

4 登録地点名を入力します。入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ 61 ページの「文字入力キーボードについて」を参照)
入力完了後、［決定］をタッチします。

- システム標準キーボードでは、漢字での登録地点名の入力が可能です。

登録地点アイコンを変更する

1 ［メニュー］➡［登録情報］➡［登録地点編集］をタッチします。

2 登録地点リストが表示されます。リストからアイコンを変更したい登録地点をタッチします。

3 編集内容選択ポップアップが表示されます。
［アイコン変更］をタッチします。

4 地図上に表示したいアイコンをタッチします。

登録地点を削除する

1 ［メニュー］➡［登録情報］➡［登録地点編集］をタッチします。

2 登録地点リストが表示されます。リストから削除したい登録地点をタッチします。
全ての登録地点を削除したい場合は、［すべて削除］をタッチします。

3 編集内容選択ポップアップが表示されます。
［削除］をタッチします。

4 削除確認ポップアップが表示されます。
削除する場合は、[はい]をタッチします。

登録ルートを削除する

1 ［メニュー］➡［登録情報］➡［登録ルート削除］をタッチします。

2 登録ルートリストが表示されます。リストから削除したい登録ルートをタッチします。
全ての登録ルートを削除したい場合は、［すべて削除］をタッチします。

3 削除確認ポップアップが表示されます。
削除する場合は、[はい]をタッチします。

検索履歴を削除する

1 ［メニュー］➡［登録情報］➡［検索履歴削除］をタッチします。

2 検索履歴リストが表示されます。リストから削除したい検索履歴をタッチします。
全ての検索履歴を削除したい場合は、[すべて削除］をタッチします。

3 削除確認ポップアップが表示されます。削除する場合は、[はい]をタッチします。

走行軌跡を削除する

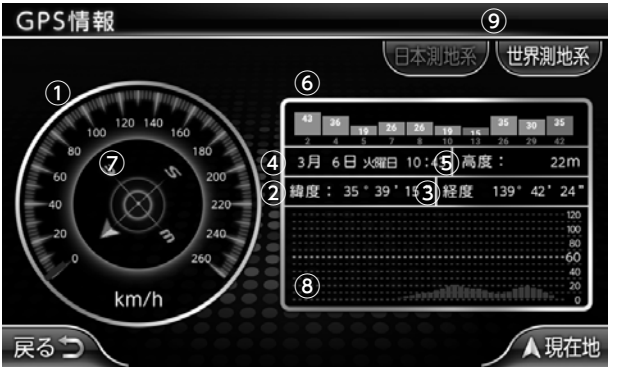
1 ［メニュー］➡［登録情報］➡［走行軌跡削除］をタッチします。

2 削除確認ポップアップが表示されます。削除する場合は、[はい]をタッチします。

GPS 情報を見る

1 ［メニュー］➡［GPS 情報］をタッチします。

2 GPS 情報画面が表示されます。



①：速度
②：緯度
③：経度
④：時刻
⑤：高度
⑥：受信衛星と受信強度
⑦：方位
⑧：速度グラフ
⑨：［日本測地系］／［世界測地系］
表示する緯度と経度の測地系を切り替えます。

ナビシステム情報を見る

1 ［メニュー］➡［システム情報］をタッチします。

2 ナビシステム情報が表示されます。
※以下のナビシステム情報は、製品の表示内容と異なります。

ナビデータを初期化する

すべての登録情報を削除し、ナビ設定を既定値にします。

1 ［メニュー］➡［システム情報］をタッチします。

2 ［ナビデータ初期化］をタッチします。

3 確認ポップアップが表示されます。
初期化する場合は、［はい］をタッチします。

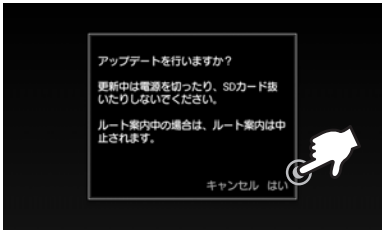
ナビシステムをアップデートする

オプションの「地図更新 SD カード」を利用してナビシステムをアップデートします。

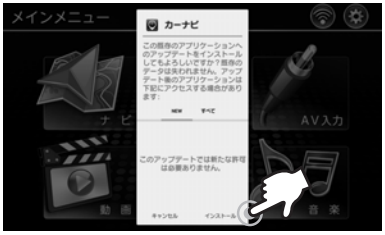
1 本体にオプションの「地図更新 SD カード」を挿入します。

2 メインメニューで［ナビ］をタッチします。

3 確認ポップアップが表示されます。［はい］をタッチします。



4 続けて確認ポップアップが表示されます。［インストール］をタッチします。



5 アップデートが実行されます。

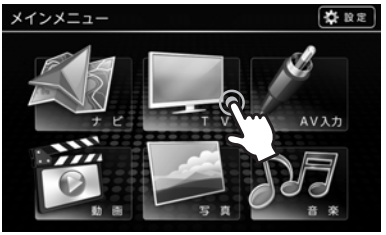
6 アップデートが完了すると、終了メッセージが表示されます。アップデートを終了する場合は［完了］をナビを実行する場合は［開く］をタッチします。

テレビ・AV 機能

テレビを視聴する

メインメニューから起動する

1 メインメニューで[TV]をタッチします。



2 テレビが起動します。

ナビから起動する

1 地図で［AV アイコン］をタッチします。

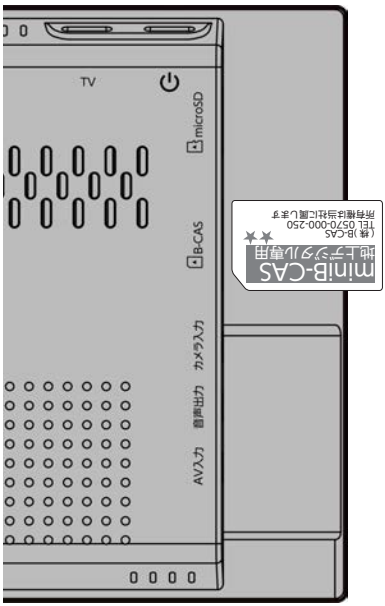
2 AV メニューが表示されます。［TV］をタッチします。

3 ナビ画面とテレビが同時に分割表示されます。(→ 58 ページの「ナビと AV 機能を分割表示する」を参照)

デレビを視聴するための手順について

miniB-CAS カードを入れる

地上デジタル放送 (12 セグ) を受信するには、付属の「miniB-CAS カード」を本体に挿入してください。
miniB-CAS カードが挿入されていない場合は、ワンセグ放送で受信します。



入れ方：
- 電源を OFF にする。
- イラストを参考にして、miniB-CAS カードをカチッと音がするまで、差し込みます。

取り出し方：
- miniB-CAS カードを奥に押します。
- miniB-CAS カードが少し飛び出しますので、そのまま引き抜きます。

受信モードを設定する

[受信モードアイコン]をタッチして受信モードを切り替えます。

自動切り替え
電波状況がよい場合は地上デジタル放送で、悪い場合はワンセグで受信するように自動で切り替えます。

地上デジタル放送固定
地上デジタル放送で受信します。

ワンセグ放送固定
ワンセグ放送で受信します。

中継局サーチを設定する

[中継局 ON/OFF アイコン] をタッチして中継局サーチの ON/OFF を切り替えます。
中継局サーチを ON にすると、移動などで受信状態が悪くなった場合、受信状態のよい中継局に自動で切り替えます。
※系列局への切り替えは行いません。

チャンネルをスキャンする

受信可能なチャンネルをサーチしてチャンネルリストに表示します。

1 [チャンネルスキャン] をタッチします。

2 チャンネルスキャンが実行され、チャンネルリストに現在受信できるチャンネルが表示されます。

テレビ画面について

①：miniB-CAS カード挿入状態
miniB-CAS カードが挿入されていない場合は「×」で表示します。

②：受信感度
受信感度を表示します。アンテナ部分が白色の場合は地上デジタル放送受信、赤色の場合はワンセグ放送受信です。

③：音量
音量を表示します。ミュート (消音) している場合は「×」になります。

④：[ナビアイコン]
ナビを起動します。

⑤：[×アイコン]
テレビを終了します。

⑥：テレビ
タッチすると、全画面表示します。再度タッチすると、全画面表示を終了します。

⑦：チャンネルリスト
現在受信できるチャンネルを表示します。

⑧：[全画面アイコン]
テレビを全画面表示します。全画面表示画面をタッチすると、全画面表示を終了します。

⑨：[受信モードアイコン]
受信モードを切り替えます。(→ 116 ページの「受信モードを設定する」を参照)

⑩：[チャンネルスキャン]
受信可能なチャンネルをサーチしてチャンネルリストに表示します。

⑪：[中継局 ON/OFF]
中継局サーチの ON/OFF を切り替えます。(→ 116 ページの「中継局サーチを設定する」を参照)

⑫：[字幕 ON/OFF]
字幕の ON/OFF を切り替えます。

⑬：[音量アイコン]
音量を調整します。

⑭：[ミュートアイコン]
音量をミュート (消音) します。

⑮：[番組表アイコン]
番組表を表示します。
※テレビを起動した直後やチャンルスキャンを実行した直後は、番組表が表示されない場合があります。

⑯：[テレビ設定アイコン]
テレビの設定をします。(→ 119 ページの「テレビを設定する」を参照)

テレビ画面 (2 画面分割表示時) について

①：miniB-CAS カード挿入状態
　miniB-CAS カードが挿入されていない場合は「×」で表示します。
②：受信感度
　受信感度を表示します。アンテナ部分が白色の場合は地上デジタル放送受信、赤色の場合はワンセグ放送受信です。
③：音量
　音量を表示します。ミュート (消音) している場合は「×」になります。
④：[×アイコン]
　テレビを終了します。
⑤：テレビ
　ダブルタップすると、分割表示を終了します。
⑥：[チャンネル変更アイコン]
　チャンネルを変更します。
⑦：[受信モードアイコン]
　受信モードを切り替えます。(→ 116 ページの「受信モードを設定する」を参照)
⑧：[音量アイコン]
　音量を調整します。

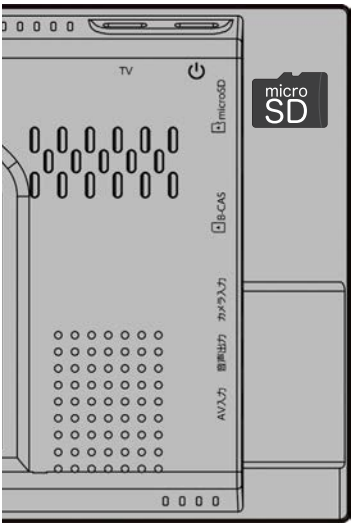
テレビを設定する

設定項目	内容	
中継局サーチ	中継局サーチの ON/OFF を切り替えます。 中継局サーチを ON にすると、移動などで受信状態が悪くなった場合、受信状態のよい中継局に自動で切り替えます。 ※系列局への切り替えは行いません。	
受信モード	受信モードを切り替えます。	
	自動切替え	電波状況がよい場合は地上デジタル放送で、悪い場合はワンセグ放送で受信するように自動で切り替えます。
	地デジ固定	地上デジタル放送で受信します。
	ワンセグ固定	ワンセグ放送で受信します。
字幕設定	字幕の表示有無を設定します。	
音声設定	主 + 副音声	音声を主音声と副音声にします。
	主音声	音声を主音声にします。
	副音声	音声を副音声にします。
代表チャンネル	チャンネルリストに代表チャンネルのみを表示するかどうかを設定します。	
時刻表示	TV 画面を全画面表示した場合に、TV 画面に時刻を表示するかどうかを設定します。	
警告画面表示	起動時に警告画面を表示するかどうかを設定します。	

メディアおよびファイルについて

マイクロ SD カードについて

本機では microSD および microSDHC の仕様に準拠したマイクロ SD カードがご利用になれます。



入れ方：

- 電源を OFF にする。
- イラストを参考にして、microSD カードをカチッと音がするまで、差し込みます。

取り出し方：

- microSD カードを奥に押します。
- microSD カードが少し飛び出しますので、そのまま引き抜きます。

本機で再生できるファイル形式について

本機で再生可能なファイル形式は以下の通りです。
※ファイルの作成方法によっては、再生／表示できない場合があります。
※コピープロテクトや著作権管理が設定されているファイルは再生できません。

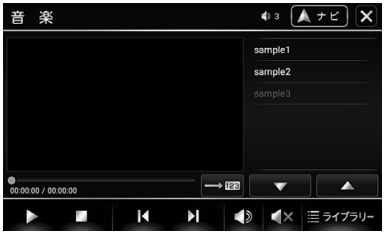
形式		拡張子
音楽ファイル	MP3	.mp3
	WMA	.wma
動画ファイル	AVI	.avi
	MP4	.mp4
	WMV	.wmv
画像ファイル	BMP	.bmp
	JPEG	.jpg
	PNG	.png

音楽を再生する

メインメニューから起動する

1 メインメニューで［音楽］をタッチします。

2 音楽プレーヤーが起動します。



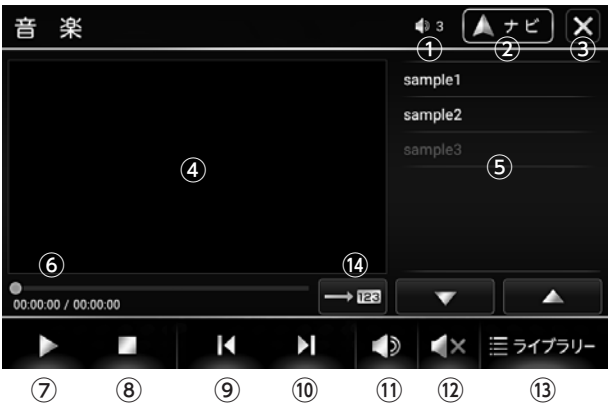
ナビから起動する

1 地図で［AV アイコン］をタッチします。

2 AV メニューが表示されます。［音楽］をタッチします。

3 ナビ画面と音楽プレーヤーが同時に分割表示されます。(→ 58 ページの「ナビと AV 機能を分割表示する」を参照)

音楽プレーヤーについて



①：音量
音量を表示します。ミュート (消音) している場合は「×」になります。

②：[ナビアイコン]
ナビを起動します。

③：[×アイコン]
音楽プレーヤーを終了します。

④：ジャケット画像

⑤：曲リスト
ライブラリー (音楽ファイルの場所) に含まれる曲をリスト表示します。
曲リストから再生したい曲をタッチして再生します。

⑥：[シークバー]
シークバーをスライドさせて曲の早送り／早戻しをします。

⑦：[再生／一時停止アイコン]
曲を再生／一時停止します。

⑧：[停止アイコン]
曲の再生を停止します。

⑨：[前へアイコン]
前の曲を再生します。

⑩：[次へアイコン]
次の曲を再生します。

⑪：[音量アイコン]
音量を調整します。

⑫：[ミュートアイコン]
音量をミュート (消音) します。

⑬：[ライブラリー]
音楽ファイルの場所 (フォルダ) を指定します。(→ 123 ページの「音楽ファイルの場所を指定する」を参照)

⑭：[再生方法アイコン]
タッチして曲の再生方法を切り替えます。

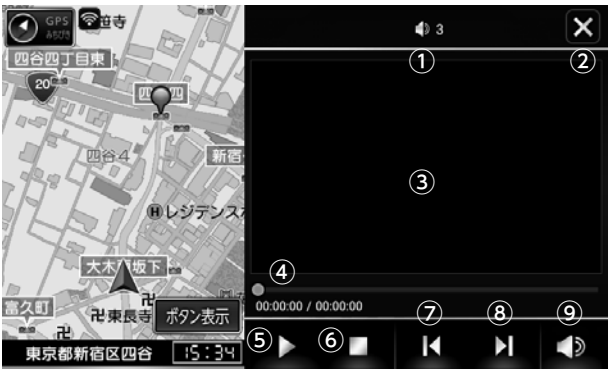
先頭から順番に再生します。

ランダム再生します。

1 曲リピート再生します。

全曲リピート再生します。

音楽プレーヤー (2 画面分割表示時) について



①：音量
音量を表示します。ミュート (消音) している場合は「×」になります。

②：[×アイコン]
音楽プレーヤーを終了します。

③：ジャケット画像
ダブルタップすると、分割表示を終了します。

④：[シークバー]
シークバーをスライドさせて曲の早送り／早戻しをします。

⑤：[再生／一時停止アイコン]
曲を再生／一時停止します。

⑥：[停止アイコン]
曲の再生を停止します。

⑦：[前へアイコン]
前の曲を再生します。

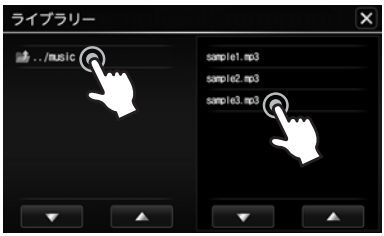
⑧：[次へアイコン]
次の曲を再生します。

⑨：[音量アイコン]
音量を調整します。

音楽ファイルの場所を指定する

1 ［ライブラリー］をタッチします。

2 左のフォルダリストから該当のフォルダをタッチして右の音楽ファイルリストから再生したい曲をタッチします。



動画を再生する

メインメニューから起動する

1 メインメニューで［動画］をタッチします。

2 動画プレーヤーが起動します。

ナビから起動する

1 地図で［AV アイコン］をタッチします。

2 AV メニューが表示されます。［動画］をタッチします。

3 ナビ画面と動画プレーヤーが同時に分割表示されます。(→ 58 ページの「ナビと AV 機能を分割表示する」を参照)

動画プレーヤーについて

①：音量
音量を表示します。ミュート (消音) している場合は「×」になります。

②：[ナビアイコン]
ナビを起動します。

③：[×アイコン]
動画プレーヤーを終了します。

④：動画
タッチすると、全画面表示します。再度タッチすると、全画面表示を終了します。

⑤：動画リスト
ライブラリー (動画ファイルの場所) に含まれる動画をリスト表示します。動画リストから再生したい動画をタッチして再生します。

⑥：[シークバー]
シークバーをスライドさせて動画の早送り／早戻しをします。

⑦：[再生／一時停止アイコン]
動画を再生／一時停止します。

⑧：[停止アイコン]
動画の再生を停止します。

⑨：[前へアイコン]
前の動画を再生します。

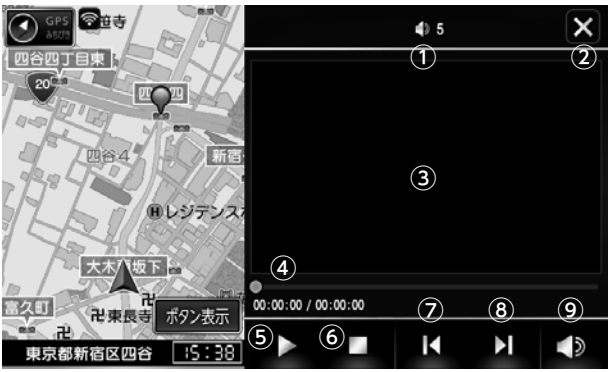
⑩：[次へアイコン]
次の動画を再生します。

⑪：[音量アイコン]
音量を調整します。

⑫：[ミュートアイコン]
音量をミュート (消音) します。

⑬：[ライブラリー]
動画ファイルの場所 (フォルダ) を指定します。(→ 126 ページの「動画ファイルの場所を指定する」を参照)

動画プレーヤー (2 画面分割表示時) について



①：音量
音量を表示します。ミュート (消音) している場合は「×」になります。

②：[×アイコン]
動画プレーヤーを終了します。

③：動画
ダブルタップすると、分割表示を終了します。

④：[シークバー]
シークバーをスライドさせて動画の早送り／早戻しをします。

⑤：[再生／一時停止アイコン]
動画を再生／一時停止します。

⑥：[停止アイコン]
動画の再生を停止します。

⑦：[前へアイコン]
前の動画を再生します。

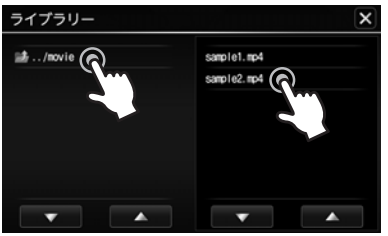
⑧：[次へアイコン]
次の動画を再生します。

⑨：[音量アイコン]
音量を調整します。

動画ファイルの場所を指定する

1 ［ライブラリー］をタッチします。

2 左のフォルダリストから該当のフォルダをタッチして右の動画ファイルリストから再生したい動画をタッチします。



写真を表示する

メインメニューから起動する

1 メインメニューで［写真］をタッチします。

2 フォトビューアーが起動します。

フォトビューアーについて

①：［×アイコン］
フォトビューアーを終了します。

②：写真
写真をタッチすると、全画面表示します。再度タッチすると、全画面表示を終了します。

③：写真リスト
ライブラリー (写真ファイルの場所) に含まれる写真をリスト表示します。
写真リストから表示したい写真をタッチして表示します。

④：［前へアイコン］
前の写真を表示します。

⑤：［次へアイコン］
次の写真を表示します。

⑥：［回転］
写真を回転します。

⑦：［スライドショー］
写真リストの写真をスライドショーで表示します。

⑧：［サムネイル］
写真リストをサムネイル表示します。

⑨：［ライブラリー］
写真ファイルの場所 (フォルダ) を指定します。(→ 128 ページの「写真ファイルの場所を指定する」を参照)

フォトビューアー（全画面表示時）について

1 ［写真］をタッチします。

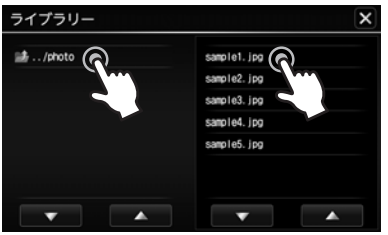
2 写真が全画面で表示されます。全画面表示では以下の操作ができます。

タッチ：
　全画面表示を終了します。
右にフリック：
　次の写真を表示します。
左にフリック：
　前の写真を表示します。
ダブルタップ：
　写真を拡大表示します。
ピンチアウト：
　写真を拡大表示します。
拡大状態でピンチイン：
　写真を縮小表示します。
拡大状態でフリック／ドラッグ：
　写真を移動します。

写真ファイルの場所を指定する

1 ［ライブラリー］をタッチします。

2 左のフォルダリストから該当のフォルダをタッチして右の写真ファイルリストから表示したい写真をタッチします。

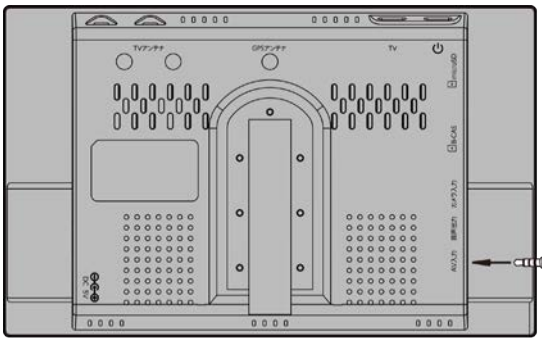


外部機器を接続 (AV 入力) する

AV ケーブルを接続する

オプションの「AV ケーブル」を本体と外部機器に接続します。

※ AV ケーブルは弊社オプション品をご利用ください。オプションの「AV ケーブル」は、RCA 端子オスタイプと RCA 端子メスタイプの 2 種類があります。



メインメニューから起動する

1 メインメニューで［AV 入力］をタッチします。

2 外部機器からの映像が表示されます。

ナビから起動する

1 地図で［AV アイコン］をタッチします。

2 AV メニューが表示されます。［AV 入力］をタッチします。

3 ナビ画面と外部機器からの映像が同時に分割表示されます。(→ 58 ページの「ナビと AV 機能を分割表示する」を参照)

外部入力画面について

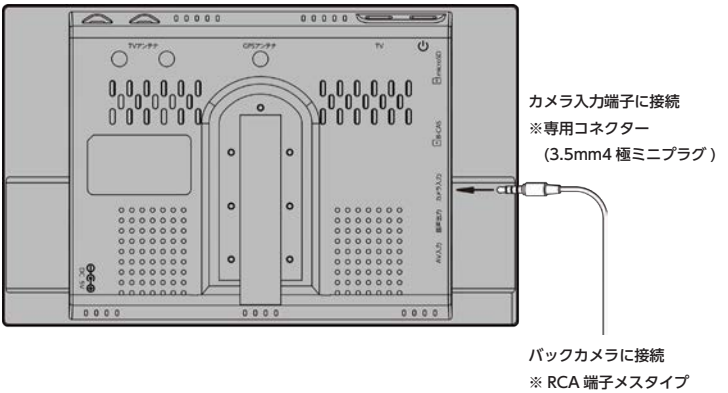
①：音量
　音量を表示します。ミュート (消音) している場合は「×」になります。
②：[ナビアイコン]
　ナビを起動します。
③：[×アイコン]
　外部入力画面を終了します。
④：外部機器からの映像
　タッチすると、全画面表示します。再度タッチすると、全画面表示を終了します。
⑤：[再生／一時停止アイコン]
　再生／一時停止します。
⑥：[停止アイコン]
　再生を停止します。
⑦：[音量アイコン]
　音量を調整します。
⑧：[ミュートアイコン]
　音量をミュート (消音) します。

外部入力画面 (2 画面分割表示時) について

①：音量
　音量を表示します。ミュート (消音) している場合は「×」になります。
②：[×アイコン]
　外部入力画面を終了します。
③：外部機器からの映像
　ダブルタップすると、分割表示を終了します。
④：[再生／一時停止アイコン]
　再生／一時停止します。
⑤：[停止アイコン]
　再生を停止します。
⑥：[音量アイコン]
　音量を調整します。
⑦：[ミュートアイコン]
　音量をミュート (消音) します。

バックカメラを接続する

オプションの「カメラケーブル」を本体とバックカメラに接続します。バックカメラ信号が入力されると自動的にバックカメラ信号に切り替わります。システム設定でバックカメラの表示有無を設定します。(→ 44 ページの「システム設定する」を参照)
※カメラケーブルは弊社オプション品をご利用ください。



VICS を利用する

VICS 情報を表示する

VICS について

VICS とは、渋滞・事故などの影響による規制などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。
本機では、スマートフォンの Wi-Fi テザリング機能などを利用してインターネットに接続し、VICS 情報を受信します。
VICS 表示は、レベル 3(地図) 表示に対応しています。
※本機が接続するスマートフォンは 4G または 3G 通信が可能な機種でご利用ください。
※本機で使用する道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されています。また、データの作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの技術が用いられています。
※「VICS」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
※通信を利用するため、通信環境によっては、サービスがご利用いただけない場合があります。
※受信状況によっては、VICS 情報が本機に表示されるまで時間がかかる場合があります。
※提供される VICS 情報はあくまでも参考です。実際の交通規制と異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。
※提供されるデータなどは最新情報ではない場合があります。
※ VICS データを受信する際には 1 回の更新で 10 ～ 50KB 程度のデータ通信が発生します。
※ VICS 情報を反映したルート探索を行う場合は、約 1MB のデータ通信が発生します。

VICS 情報の表示手順について

1 スマートフォンの Wi-Fi テザリング機能などを利用してインターネットに接続します。
(→ 135 ページの「インターネットに接続する」を参照)

2 シリアル番号を登録します。(→ 136 ページの「シリアル情報を登録する」を参照)
登録は一度行えば有効期限が切れるまでは再度行う必要はありません。
登録したシリアル番号の有効期限が切れた場合は、オプションの「VICS チケット」を利用して有効期限を延長します。(→ 137 ページの「シリアル情報を確認・更新する」を参照)

3 地図上の［VICS アイコン］をタッチして VICS 情報を受信します。
VICS 更新方法を変更して、VICS 情報を自動で受信するように設定できます。
(→ 141 ページの「VICS 更新方法を設定する」を参照)

インターネットに接続する

1 スマートフォンのテザリング機能を利用してインターネットに接続する場合は、スマートフォンで Wi-Fi テザリングを ON にします。

- iPhone をお使いの場合
  - ［設定］をタッチします。
  - ［インターネット共有］をタッチします。
  - 「インターネット共有」を［ON］にします。
  - インターネット共有画面のままで本機を接続してください。
    iPhone の名称がネットワーク名になります。
- Android スマートフォンをお使いの場合
  - ［設定］をタッチします。
  - ［その他］をタッチします。
  - ［テザリング］をタッチします。
  - ［Wi-Fi テザリング］をタッチします。
  - 端末の名称（もしくは SSID）がネットワーク名になります。

※機種によりメニュー名、操作手順は異なります。詳しくはご利用機種の取扱説明書をご確認ください。

※スマートフォンは 4G または 3G 通信が可能な機種でご利用ください。

※ Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。

※ Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。

※ iPhone は、Apple Inc. の商標または登録商標です。

※ iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

2 ［メニュー］➡［Wi-Fi］をタッチします。

3 Wi-Fi 設定画面が表示されます。
［ON］をタッチします。

4 接続可能なネットワークが表示されます。該当のネットワーク名をタッチします。

5 パスワードを入力します。

6 接続されると「接続済み」と表示されます。

- Wi-Fi を ON の状態で、電源を OFF すると、次回起動時は自動的に最後に接続したネットワークに接続します。

シリアル情報を登録する

VICS を利用するためには、シリアル番号を登録します。

※シリアル番号を登録するにはインターネットに接続する必要があります。(→ 135 ページの「インターネットに接続する」を参照)

1 本体背面左側に記載されている 16 桁のシリアル番号を確認します。

2 [メニュー] ➡ [ナビ設定] ➡ [VICS] をタッチします。

3 VICS設定画面で、[シリアル登録]をタッチします。

4 シリアル番号を入力します。入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ 61 ページの「文字入力キーボードについて」を参照)

入力完了後、[決定] をタッチします。

シリアル情報を確認・更新する

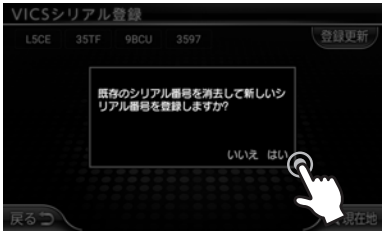
登録されたシリアル番号、有効期限を確認します。
また、有効期限が切れたシリアル情報を更新します。有効期限を延長するには、オプションの「VICS チケット」が必要です。
※シリアル情報を更新するにはインターネットに接続する必要があります。(→ 135 ページの「インターネットに接続する」を参照)

1 [メニュー] ➡ [ナビ設定] ➡ [VICS] をタッチします。

2 VICS設定画面で、[シリアル確認]をタッチします。

3 登録されたシリアル情報が表示されます。
シリアル情報を更新する場合は、[登録更新] をタッチします。

4 確認メッセージが表示されます。[はい] をタッチします。



5 シリアル番号を入力します。入力は、ナビ専用キーボードもしくはシステム標準キーボードで行います。(→ 61 ページの「文字入力キーボードについて」を参照)
入力完了後、[決定] をタッチします。

VICS 表示について

①：[VICS アイコン]
タッチして最新の VICS 情報を受信します。
VICS を受信した時刻、VICS 更新方法を表示します。VICS 更新方法は、ナビ設定で変更します。(→ 141 ページの「VICS 更新方法を設定する」を参照)

②：渋滞情報
赤色：渋滞　橙色：混雑　青色：順調　黄色：規制
※方向を矢印で表示します。

③：VICS 情報アイコン
交通規制、交通障害、駐車場、SA/PA 情報をアイコンで表示します。アイコンをタッチして詳細情報を表示します。
※詳細情報がない VICS 情報アイコンもあります。

	事故		チェーン規制
	故障車		車線規制
	路上障害		対面通行
	工事	50	速度規制
	作業		片側交互通行
	凍結		入口閉鎖
	通行止め閉鎖		入口制限
	進入禁止		大型通行止め
▽	徐行	規	規制

SA PA	SA/PA　青色 : 空
SA PA	SA/PA　橙色 : 混雑
SA PA	SA/PA　赤色 : 満
SA PA	SA/PA　赤色 (x): 閉
SA PA	SA/PA　黒色 : 不明
P	駐車場　青色 : 空
P	駐車場　橙色 : 混雑
P	駐車場　赤色 : 満
P	駐車場　赤色 (x): 閉
P	駐車場　黒色 : 不明

VICS 情報を考慮したルート探索について

VICS 情報を考慮してルート探索します。
※ VICS 情報を考慮したルート探索を行う場合は、約 1MB のデータ通信が発生します。

1 ナビ設定で渋滞情報考慮を「する」に設定してください。(→ 96 ページの「ルート探索を設定する」を参照)
※渋滞情報考慮が「する」に設定されている場合は、ルート編集画面の［ルート探索］に「VICS マーク」が表示されます。

2 ルート探索を開始します。(→ 82 ページの「ルート探索を開始する」を参照)

3 ルート探索完了後、ルート全景画面が表示されます。
ルート区間色で、渋滞状況を表示します。(赤色：渋滞、橙色：混雑、青色：渋滞なし)
［ルート案内］をタッチします。
※渋滞情報考慮が「する」に設定されている場合は、［ルート案内］に「VICS マーク」が表示されます。

4 案内が開始されます。
※渋滞情報考慮が「する」に設定されている場合は、画面左上に「VICS マーク」が表示されます。

VICS を設定する

VICS 表示を設定する

1 ［メニュー］➡［ナビ設定］➡［VICS］➡［VICS 表示設定］をタッチします。

2 左側の設定項目リストから該当の項目をタッチして右側の設定リストから該当の項目をタッチします。

設定項目	内容
一般道渋滞／混雑情報	一般道の渋滞／混雑線の表示有無を設定します。 ※ 500m 以下のスケールで表示します。
一般道渋滞なし情報	一般道の順調線の表示有無を設定します。 ※ 2D 地図では 300m 以下、3D ビューでは 200m 以下のスケールで表示します。
高速道渋滞／混雑情報	高速道の渋滞／混雑線の表示有無を設定します。 ※ 2D 地図では 1km 以下、3D ビューでは 500m 以下のスケールで表示します。
高速道渋滞なし情報	高速道の順調線の表示有無を設定します。 ※ 2D 地図では 300m 以下、3D ビューでは 200m 以下のスケールで表示します。
駐車場、SA/PA 情報	駐車場、SA/PA 情報アイコンの表示有無を設定します。 ※ 300m 以下のスケールで表示します。
道路規制情報	道路規制情報アイコンの表示有無を設定します。 ※ 2D 地図では 1km 以下、3D ビューでは 500m 以下のスケールで表示します。

VICS 更新方法を設定する

1 ［メニュー］➡［ナビ設定］➡［VICS］➡［VICS 更新設定］をタッチします。

2 右側に設定リストから該当の項目をタッチします。

その他

収録データについて

- このナビシステムに使用している地図データは、(株) ゼンリンが作成しています。地図データの著作権は、(株) ゼンリンが所有しています。
- このナビシステムに使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 50 万分の 1 地方図、2 万 5 千分の 1 地形図および電子地形図 25000 を使用しています。(承認番号　平 29 情使、第 444-B230 号)
- このナビシステムに使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H･1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号　国地企調発第 78 号　平成 16 年 4 月 23 日)
- このナビシステムに使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50m メッシュ (標高) を使用しています。(承認番号　平 27 情使、第 1048-001 号)
- このナビシステムに使用している地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第 44 条に基づく成果使用承認 13-061)
- このナビシステムに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、MAPMASTER が作成したものを使用しています。
- このナビシステムに使用している交通規制データは、2018 年 9 月現在のものです。本データが現場の交通規則と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などにしたがってください。
- このナビシステムに使用している道路データは、高速、有料道路についてはおおむね 2018 年 10 月、国道、都道府県道についてはおおむね 2018 年 8 月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
- 交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- ルート探索は、2 万 5 千分の 1 地形図 (国土地理院発行) 上の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難な場合がありますのでご注意ください。実際の道路状況や交通規制を優先して走行してください。
- 詳細市街図データは、(株) ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 「ゼンリン」および「ZENRIN」は、(株) ゼンリンの登録商標です。
- 本システムを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。

・ このナビシステムに使用している地図データは、2018 年 10 月締めデータです。各データはおおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されています。

データ名称	締め日
道路データ（高速・有料道路）	2018 年 10 月
道路データ（国道・都道府県道）	2018 年 8 月
交通規制データ	2018 年 9 月
レーン情報	2018 年 9 月
簡易市街図	2018 年 10 月
詳細市街図	2018 年 5 月
住所検索データ	2018 年 9 月
電話番号検索データ	2018 年 4 月
50 音施設称検索データ	2018 年 8 月
施設ジャンル検索データ	2018 年 8 月
周辺施設検索データ	2018 年 8 月
駅名検索データ	2018 年 8 月
高速分岐イラスト	2018 年 10 月
高速出口後方面看板イラスト	2018 年 8 月
高速出口後分岐イラスト	2018 年 10 月
3D リアル交差点イラスト	2018 年 6 月
方面看板イラスト	2018 年 8 月
都市高速出入口イラスト	2017 年 11 月

・ 2018 年 10 月締めデータに加えて、2019 年 3 月までの開通前路線情報を収録しています。2018 年 10 月以後の開通道路は以下をご確認の上、ご利用ください。
  ・ 有料道路以上、かつ、影響度が大きいと判断し、かつ、図面が入手できた道路のみをご提供しております。
  ・ 開通前に取得できた情報のみ反映しておりますので、道路形状、規制、接続する一般道の道路状況など、現地の状況と異なる可能性があり、実際とは異なったルート案内をする場合があります。
  ・ 道路形状 (地図表示) および道路ネットワークデータ (ルート探索・案内用データ) のみ反映されており、誘導系画像、検索データ、その他注記等が反映されていない場合があります。
  ・ 道路形状 (地図表示) は 200m 以下のスケールにのみ反映されており、300m 以上のスケールでは表示されません。

(C) 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
(C)ZENRIN CO., LTD

詳細市街図収録エリア

北海道
札幌市中央区、札幌市北区、札幌市東区、札幌市白石区、札幌市豊平区、札幌市南区、札幌市西区、札幌市厚別区、札幌市手稲区、札幌市清田区、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、北斗市、石狩郡当別町、亀田郡七飯町、二海郡八雲町、檜山郡江差町、岩内郡岩内町、余市郡余市町、空知郡奈井江町、上川郡鷹栖町、上川郡東神楽町、上川郡美瑛町、斜里郡斜里町、白老郡白老町、虻田郡洞爺湖町、日高郡新ひだか町、河東郡音更町、上川郡清水町、河西郡芽室町、中川郡幕別町、中川郡池田町、釧路郡釧路町

青森県
青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、南津軽郡藤崎町、南津軽郡大鰐町、南津軽郡田舎館村、上北郡野辺地町、上北郡東北町

岩手県
盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、滝沢市、岩手郡雫石町、岩手郡岩手町、紫波郡紫波町、紫波郡矢巾町、胆沢郡金ケ崎町、西磐井郡平泉町、上閉伊郡大槌町、下閉伊郡山田町、下閉伊郡岩泉町

宮城県
仙台市青葉区、仙台市宮城野区、仙台市若林区、仙台市太白区、仙台市泉区、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、登米市、栗原市、東松島市、大崎市、刈田郡蔵王町、柴田郡大河原町、柴田郡村田町、柴田郡柴田町、亘理郡亘理町、亘理郡山元町、宮城郡松島町、宮城郡七ヶ浜町、宮城郡利府町、黒川郡大和町、富谷市、黒川郡大衡村、加美郡色麻町、加美郡加美町、遠田郡涌谷町、遠田郡美里町

秋田県
秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、南秋田郡五城目町、南秋田郡八郎潟町、南秋田郡井川町

山形県
山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、東村山郡山辺町、東村山郡中山町、西村山郡河北町、東置賜郡高畠町、東置賜郡川西町、東田川郡庄内町

福島県
福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、伊達郡桑折町、伊達郡国見町、伊達郡川俣町、岩瀬郡鏡石町、大沼郡会津美里町、西白河郡西郷村、西白河郡矢吹町、石川郡石川町、石川郡玉川村、田村郡三春町、田村郡小野町、双葉郡広野町、双葉郡楢葉町、双葉郡富岡町、双葉郡大熊町、双葉郡双葉町、双葉郡浪江町

茨城県
水戸市、日立市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、東茨城郡茨城町、東茨城郡大洗町、東茨城郡城里町、那珂郡東海村、久慈郡大子町、稲敷郡美浦村、稲敷郡阿見町、稲敷郡河内町、結城郡八千代町、猿島郡五霞町、猿島郡境町、北相馬郡利根町

栃木県
宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、河内郡上三川町、芳賀郡益子町、芳賀郡茂木町、芳賀郡市貝町、芳賀郡芳賀町、下都賀郡壬生町、下都賀郡野木町、那須郡那須町

群馬県
前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、北群馬郡榛東村、北群馬郡吉岡町、甘楽郡下仁田町、甘楽郡甘楽町、吾妻郡中之条町、吾妻郡嬬恋村、吾妻郡草津町、吾妻郡東吾妻町、利根郡昭和村、利根郡みなかみ町、佐波郡玉村町、邑楽郡板倉町、邑楽郡明和町、邑楽郡千代田町、邑楽郡大泉町、邑楽郡邑楽町

埼玉県
さいたま市西区、さいたま市北区、さいたま市大宮区、さいたま市見沼区、さいたま市中央区、さいたま市桜区、さいたま市浦和区、さいたま市南区、さいたま市緑区、さいたま市岩槻区、川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、白岡市、北足立郡伊奈町、入間郡三芳町、入間郡毛呂山町、入間郡越生町、比企郡滑川町、比企郡嵐山町、比企郡小川町、比企郡川島町、比企郡吉見町、比企郡鳩山町、比企郡ときがわ町、秩父郡横瀬町、秩父郡皆野町、秩父郡長瀞町、秩父郡小鹿野町、秩父郡東秩父村、児玉郡美里町、児玉郡神川町、児玉郡上里町、大里郡寄居町、南埼玉郡宮代町、北葛飾郡杉戸町、北葛飾郡松伏町

千葉県
千葉市中央区、千葉市花見川区、千葉市稲毛区、千葉市若葉区、千葉市緑区、千葉市美浜区、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ケ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、大網白里市、印旛郡酒々井町、印旛郡栄町、香取郡神崎町、香取郡多古町、香取郡東庄町、山武郡九十九里町、山武郡芝山町、山武郡横芝光町、長生郡一宮町、長生郡睦沢町、長生郡長生村、長生郡白子町、長生郡長柄町、長生郡長南町、夷隅郡大多喜町、夷隅郡御宿町、安房郡鋸南町

東京都
千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、西多摩郡瑞穂町、西多摩郡日の出町、西多摩郡檜原村、西多摩郡奥多摩町

神奈川県
横浜市鶴見区、横浜市神奈川区、横浜市西区、横浜市中区、横浜市南区、横浜市保土ケ谷区、横浜市磯子区、横浜市金沢区、横浜市港北区、横浜市戸塚区、横浜市港南区、横浜市旭区、横浜市緑区、横浜市瀬谷区、横浜市栄区、横浜市泉区、横浜市青葉区、横浜市都筑区、川崎市川崎区、川崎市幸区、川崎市中原区、川崎市高津区、川崎市多摩区、川崎市宮前区、川崎市麻生区、相模原市緑区、相模原市中央区、相模原市南区、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、三浦郡葉山町、高座郡寒川町、中郡大磯町、中郡二宮町、足柄上郡中井町、足柄上郡大井町、足柄上郡松田町、足柄上郡山北町、足柄上郡開成町、足柄下郡箱根町、足柄下郡真鶴町、足柄下郡湯河原町、愛甲郡愛川町、愛甲郡清川村

新潟県
新潟市北区、新潟市東区、新潟市中央区、新潟市江南区、新潟市秋葉区、新潟市南区、新潟市西区、新潟市西蒲区、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、北蒲原郡聖籠町、西蒲原郡弥彦村、南蒲原郡田上町、南魚沼郡湯沢町

富山県
富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、中新川郡舟橋村、中新川郡上市町、中新川郡立山町、下新川郡入善町、下新川郡朝日町

石川県
金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、能美郡川北町、河北郡津幡町、河北郡内灘町、羽咋郡志賀町、羽咋郡宝達志水町、鹿島郡中能登町、鳳珠郡能登町

福井県
福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、吉田郡永平寺町、丹生郡越前町、三方郡美浜町、大飯郡高浜町、大飯郡おおい町

山梨県
甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、中央市、西八代郡市川三郷町、南巨摩郡身延町、南巨摩郡富士川町、中巨摩郡昭和町、南都留郡西桂町、南都留郡忍野村、南都留郡山中湖村、南都留郡鳴沢村、南都留郡富士河口湖町

長野県
長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、北佐久郡軽井沢町、北佐久郡御代田町、諏訪郡下諏訪町、諏訪郡富士見町、諏訪郡原村、上伊那郡辰野町、上伊那郡箕輪町、上伊那郡飯島町、上伊那郡南箕輪村、上伊那郡中川村、上伊那郡宮田村、下伊那郡松川町、下伊那郡高森町、下伊那郡阿智村、下伊那郡喬木村、下伊那郡豊丘村、東筑摩郡山形村、東筑摩郡筑北村、北安曇郡池田町、北安曇郡松川村、北安曇郡白馬村、埴科郡坂城町、上高井郡小布施町、上高井郡高山村、下高井郡山ノ内町

岐阜県
岐阜市、大垣市、高山市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、海津市、羽島郡岐南町、羽島郡笠松町、養老郡養老町、不破郡垂井町、不破郡関ケ原町、安八郡神戸町、安八郡輪之内町、安八郡安八町、揖斐郡揖斐川町、揖斐郡大野町、揖斐郡池田町、本巣郡北方町、加茂郡坂祝町、加茂郡富加町、加茂郡川辺町、加茂郡八百津町、可児郡御嵩町

静岡県
静岡市葵区、静岡市駿河区、静岡市清水区、浜松市中区、浜松市東区、浜松市西区、浜松市南区、浜松市北区、浜松市浜北区、浜松市天竜区、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、賀茂郡東伊豆町、賀茂郡河津町、賀茂郡松崎町、賀茂郡西伊豆町、田方郡函南町、駿東郡清水町、駿東郡長泉町、駿東郡小山町、榛原郡吉田町、周智郡森町

愛知県
名古屋市千種区、名古屋市東区、名古屋市北区、名古屋市西区、名古屋市中村区、名古屋市中区、名古屋市昭和区、名古屋市瑞穂区、名古屋市熱田区、名古屋市中川区、名古屋市港区、名古屋市南区、名古屋市守山区、名古屋市緑区、名古屋市名東区、名古屋市天白区、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、愛知郡東郷町、西春日井郡豊山町、丹羽郡大口町、丹羽郡扶桑町、海部郡大治町、海部郡蟹江町、海部郡飛島村、知多郡阿久比町、知多郡東浦町、知多郡南知多町、知多郡美浜町、知多郡武豊町、額田郡幸田町

三重県
津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、志摩市、伊賀市、桑名郡木曽岬町、員弁郡東員町、三重郡菰野町、三重郡朝日町、三重郡川越町、多気郡多気町、多気郡明和町、度会郡玉城町、度会郡度会町、度会郡南伊勢町、北牟婁郡紀北町、南牟婁郡御浜町、南牟婁郡紀宝町

滋賀県
大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、蒲生郡日野町、蒲生郡竜王町、愛知郡愛荘町、犬上郡豊郷町、犬上郡甲良町、犬上郡多賀町

京都府
京都市北区、京都市上京区、京都市左京区、京都市中京区、京都市東山区、京都市下京区、京都市南区、京都市右京区、京都市伏見区、京都市山科区、京都市西京区、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、京丹後市、南丹市、木津川市、乙訓郡大山崎町、久世郡久御山町、綴喜郡井手町、綴喜郡宇治田原町、相楽郡笠置町、相楽郡和束町、相楽郡精華町、相楽郡南山城村、与謝郡伊根町、与謝郡与謝野町

大阪府
大阪市都島区、大阪市福島区、大阪市此花区、大阪市西区、大阪市港区、大阪市大正区、大阪市天王寺区、大阪市浪速区、大阪市西淀川区、大阪市東淀川区、大阪市東成区、大阪市生野区、大阪市旭区、大阪市城東区、大阪市阿倍野区、大阪市住吉区、大阪市東住吉区、大阪市西成区、大阪市淀川区、大阪市鶴見区、大阪市住之江区、大阪市平野区、大阪市北区、大阪市中央区、堺市堺区、堺市中区、堺市東区、堺市西区、堺市南区、堺市北区、堺市美原区、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、泉南市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、三島郡島本町、豊能郡豊能町、豊能郡能勢町、泉北郡忠岡町、泉南郡熊取町、泉南郡田尻町、泉南郡岬町、南河内郡太子町、南河内郡河南町、南河内郡千早赤阪村

兵庫県
神戸市東灘区、神戸市灘区、神戸市兵庫区、神戸市長田区、神戸市須磨区、神戸市垂水区、神戸市北区、神戸市中央区、神戸市西区、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、川辺郡猪名川町、多可郡多可町、加古郡稲美町、加古郡播磨町、神崎郡市川町、神崎郡福崎町、神崎郡神河町、揖保郡太子町、赤穂郡上郡町、美方郡香美町、美方郡新温泉町

奈良県
奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、宇陀市、生駒郡平群町、生駒郡三郷町、生駒郡斑鳩町、生駒郡安堵町、磯城郡川西町、磯城郡三宅町、磯城郡田原本町、高市郡高取町、高市郡明日香村、北葛城郡上牧町、北葛城郡王寺町、北葛城郡広陵町、北葛城郡河合町、吉野郡吉野町、吉野郡大淀町、吉野郡下市町、吉野郡黒滝村

和歌山県
和歌山市、海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、岩出市、海草郡紀美野町、伊都郡かつらぎ町、伊都郡九度山町、伊都郡高野町、有田郡湯浅町、有田郡広川町、有田郡有田川町、日高郡美浜町、日高郡日高町、日高郡由良町、日高郡印南町、日高郡みなべ町、日高郡日高川町、西牟婁郡白浜町、西牟婁郡上富田町、東牟婁郡那智勝浦町、東牟婁郡太地町、東牟婁郡串本町

鳥取県
鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美郡岩美町、八頭郡八頭町、東伯郡三朝町、東伯郡湯梨浜町、東伯郡琴浦町、東伯郡北栄町、西伯郡日吉津村、西伯郡伯耆町

島根県
松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市

岡山県
岡山市北区、岡山市中区、岡山市東区、岡山市南区、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、浅口市、和気郡和気町、都窪郡早島町、浅口郡里庄町、小田郡矢掛町、苫田郡鏡野町、勝田郡勝央町、勝田郡奈義町、英田郡西粟倉村、久米郡久米南町、久米郡美咲町、加賀郡吉備中央町

広島県
広島市中区、広島市東区、広島市南区、広島市西区、広島市安佐南区、広島市安佐北区、広島市安芸区、広島市佐伯区、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸郡府中町、安芸郡海田町、安芸郡熊野町、安芸郡坂町

山口県
下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、大島郡周防大島町、玖珂郡和木町、熊毛郡田布施町、熊毛郡平生町

徳島県
徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、名西郡石井町、板野郡松茂町、板野郡北島町、板野郡藍住町、板野郡板野町、板野郡上板町、美馬郡つるぎ町、三好郡東みよし町

香川県
高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、小豆郡土庄町、小豆郡小豆島町、木田郡三木町、綾歌郡宇多津町、綾歌郡綾川町、仲多度郡琴平町、仲多度郡多度津町、仲多度郡まんのう町

愛媛県
松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、上浮穴郡久万高原町、伊予郡松前町、伊予郡砥部町、喜多郡内子町、西宇和郡伊方町

高知県
高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、吾川郡いの町、高岡郡佐川町、高岡郡越知町、高岡郡檮原町、高岡郡四万十町、幡多郡黒潮町

福岡県
北九州市門司区、北九州市若松区、北九州市戸畑区、北九州市小倉北区、北九州市小倉南区、北九州市八幡東区、北九州市八幡西区、福岡市東区、福岡市博多区、福岡市中央区、福岡市南区、福岡市西区、福岡市城南区、福岡市早良区、大牟田市、久留米市、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、中間市、小郡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、糸島市、那珂川市、糟屋郡宇美町、糟屋郡篠栗町、糟屋郡志免町、糟屋郡須恵町、糟屋郡新宮町、糟屋郡久山町、糟屋郡粕屋町、遠賀郡芦屋町、遠賀郡水巻町、遠賀郡岡垣町、遠賀郡遠賀町、鞍手郡小竹町、鞍手郡鞍手町、嘉穂郡桂川町、朝倉郡筑前町、三井郡大刀洗町、三潴郡大木町、八女郡広川町、田川郡香春町、田川郡添田町、田川郡糸田町、田川郡川崎町、田川郡大任町、田川郡赤村、田川郡福智町、京都郡苅田町、京都郡みやこ町、築上郡吉富町、築上郡築上町

佐賀県
佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、神埼郡吉野ヶ里町、三養基郡基山町、三養基郡上峰町、三養基郡みやき町、杵島郡白石町

長崎県
長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、五島市、西海市、雲仙市、南島原市、西彼杵郡長与町、西彼杵郡時津町、東彼杵郡東彼杵町、東彼杵郡川棚町、東彼杵郡波佐見町、北松浦郡佐々町

熊本県
熊本市中央区、熊本市東区、熊本市西区、熊本市南区、熊本市北区、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、合志市、玉名郡玉東町、玉名郡長洲町、菊池郡大津町、菊池郡菊陽町、阿蘇郡南小国町、阿蘇郡小国町、阿蘇郡高森町、上益城郡御船町、上益城郡嘉島町、上益城郡益城町、上益城郡甲佐町、八代郡氷川町、葦北郡芦北町、葦北郡津奈木町

大分県
大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、速見郡日出町、玖珠郡九重町、玖珠郡玖珠町

宮崎県
宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、北諸県郡三股町、西諸県郡高原町、東諸県郡国富町、児湯郡高鍋町、児湯郡新富町、児湯郡木城町、児湯郡川南町、児湯郡都農町、東臼杵郡門川町

鹿児島県
鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、姶良市、薩摩郡さつま町

沖縄県
那覇市、宜野湾市、石垣市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、うるま市、宮古島市、南城市、国頭郡本部町、中頭郡読谷村、中頭郡嘉手納町、中頭郡北谷町、中頭郡北中城村、中頭郡中城村、中頭郡西原町、島尻郡与那原町、島尻郡南風原町、島尻郡八重瀬町

仕様

CPU	Rockchip RK3128	
メインメモリ	1GB	
内部ストレージ	16GB	
本体	外形寸法	174mm(幅) × 108mm(高さ) × 21mm(奥行き)
	質量	約 340g
	使用温度範囲	0℃～ +60℃
	電源電圧	DC5V
	消費電流	1.5A
	消費電力	7.5W
液晶ディスプレイ	画面サイズ	7V 型
	画素数	1,152,000 画素（横 800 ×縦 480 × 3）
	表示方式	透過型カラーフィルター方式
	駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
	使用光源	LED バックライト
	タッチパネル	静電容量式タッチパネル
内蔵スピーカー	寸法・形状	φ 30mm 丸型
	定格出力	1.0W
	最大出力	1.5W
内蔵 GPS	u-blox UBX-G8020-KT	
端子	電源入力端子	DC5V
	AV 入力端子	専用コネクター (3.5mm4 極ミニプラグ)
	バックカメラ入力端子	専用コネクター (3.5mm4 極ミニプラグ)
	ヘッドホン出力端子	3.5mm ステレオミニプラグ
	地上デジタル放送用アンテナ端子	専用コネクター (MCX)
	外部 GPS アンテナ端子	専用コネクター (MCX)
地上デジタルチューナー	受信可能放送	地上デジタル放送方式 (日本) フルセグ / ワンセグ対応
	受信チャンネル	UHF13CH ～ 52CH
	B-CAS カード	miniB-CAS カード
シガーソケットコード	使用電源	DC12V/DC24V マイナスアース
	ヒューズ	3A
	長さ	1.5m
	出力電圧	DC5V
	質量	約 85g
吸盤スタンド	吸盤寸法（直径）	85mm
	質量	約 150g(吸盤スタンド単体)
SD カード	microSD, microSDHC	
無線機能	Wi-Fi 802.11b/g/n	

保証について

- 保証書 (裏表紙参照)
  保証書は、必ず「お買い上げ日」、「販売店」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年です。
- この製品は持込修理とさせて頂きます。
- 修理を依頼される場合は、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- 保証期間中は、保証書の規定に従って、修理させて頂きます。修理をご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因 (衝撃や水分、異物の混入など) による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後は、修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理致します。
- 補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 3 年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 点検や修理の際、履歴や登録されたデータが消去される場合があります。
- 修理期間中の代替機の貸し出しは行なっておりません。あらかじめご了承ください。

保証書 (持込修理)

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。

品番		**RQ-A719PVF**
お買い上げ日		**年　月　日**
保証期間		**お買い上げの日から 1 年**
販売店様ご記入欄	販売店名	
	住所	
	電話番号	
お客様ご記入欄	お名前	
	ご住所	
	電話番号	
	メールアドレス	
	シリアル番号	

- 保証期間内でも以下の場合には有料修理になります。
  - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
  - お買い上げ後の移動、落下などによる故障および損傷。
  - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源や異常電圧による故障および損傷。
  - 特殊な条件下など、通常以外の使用による故障および損傷。
  - 故障の原因が本機以外にある場合。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合 (レシート添付の場合は除く)。
  - 本体内蔵の電池やディスプレイなどの付属品および消耗品の消耗による交換。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
- 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。

株式会社ナビクエスト
〒 160-0022　東京都新宿区新宿 6-7-22 エルプリメント新宿 457